●データ表示／編集／管理

■静止画を使いこなす
データBOXについて 340
保存した画像を表示する ..... マイピクチャ 342
静止画を編集する ..... イメージ編集 348
■動画を使いこなす
撮影した動画／ｉモーションを再生する ..... ｉモーション 351
動画を編集する ..... 動画編集 356
動画／ｉモーションをmicroSDメモリーカードに
移動する ..... コンテンツ移行対応 357
■キャラ電を使いこなす
キャラ電とは ..... キャラ電 358
■メロディを使いこなす
メロディを再生する ..... メロディ 361
■きせかえツールを使いこなす
きせかえツールを利用する ..... きせかえツール 364
■メモリーカードを使いこなす
microSDメモリーカードについて 365
FOMA端末とmicroSDメモリーカード間でコピーできる
データについて 369
microSDメモリーカードを利用する ..... SD-PIM 369
microSDメモリーカードの管理について 373
microSDリーダー／ライターとして使う 373
■各種データを使いこなす
フォルダとデータを操作する 375
電話帳の画像を転送しないように設定する ..... 電話帳画像転送 378
■赤外線通信／ケーブル接続でデータをやりとりする
赤外線通信／ｉC通信／ケーブル接続による
データ転送について ..... 赤外線通信／ｉC通信／OBEX 378
データを１件ずつ転送する 381
データをまとめて転送する 382
赤外線リモコン機能を利用する 384
■PDF対応ビューアを使いこなす
PDFデータを表示する ..... マイドキュメント 384
■ドキュメント対応ビューアを使いこなす
ドキュメントを表示する ..... ドキュメントビューア 389
■静止画を印刷する
保存した画像を印刷する ..... PictBridge印刷 392

データBOXについて

データBOXには以下のような項目とフォルダが用意されており、内蔵カメラで撮影した静止画や動画、メールやサイトなどからダウンロードしたデータなどが、種類に合わせてフォルダに振り分けられます。

- N904i（本体）には、それぞれ以下の件数まで保存が可能です。
  マイピクチャ：撮影した静止画と合わせて最大720件
  ミュージック：最大100件
  iモーション：撮影した動画と合わせて最大100件
  メロディ：最大400件
  マイドキュメント：PDFデータを最大400件
  キャラ電：お買い上げ時に登録されているキャラ電と合わせて最大10件
  きせかえツール：お買い上げ時に登録されているパッケージと合わせて最大100件
  また、これらとは別にシークレットフォルダに、マイピクチャは最大100件、2Mバイトまで、iモーションは最大10件、10Mバイトまで保存できます。※
- マイピクチャ、ミュージック、iモーション、メロディ、マイドキュメントには、それぞれ20個までフォルダを追加することができます。
- マイピクチャ、ミュージック、iモーション、メロディ、マイドキュメントに保存されているデータをその項目内のほかのフォルダに移動することができます。

※：お買い上げ時に約10Mバイトのiモーションが保存されています。カメラで撮影した動画やダウンロードしたデータを保存する場合などは削除してください。

マイピクチャ

フォルダ	ファイル形式	データの内容
INBOX	JPEG、GIF、SWF※1	すべての画像の保存先として選択できます。microSDメモリーカードからコピーした画像、赤外線通信などで転送された画像はINBOXフォルダに保存されます。キャラ電撮影した静止画はカメラフォルダに保存されます。
カメラ		
デコメピクチャ		お買い上げ時に登録されているデコメール用の画像が保存されています。INBOX、カメラフォルダと同様に、画像の保存先として選択できます。
デコメ絵文字※2	JPEG、GIF	お買い上げ時に登録されているデコメ絵文字、メールに添付されていたデコメ絵文字、ダウンロードしたデコメ絵文字や、microSDメモリーカードからコピーしたデコメ絵文字が保存されます。
おまかせデコメ		ダウンロードしたおまかせデコメ用の画像が、感情の分類別のフォルダに保存されます。
プリインストール	JPEG、GIF、SWF※1	お買い上げ時に登録されている待受画面やウェイクアップなどの画像、アニメーションが保存されています。
シークレット※3	JPEG、GIF、SWF※1	ほかの人に見られたくない画像を保管します。
（ユーザ作成フォルダ1～20）	JPEG、GIF、SWF※1	INBOX、カメラフォルダと同様に、画像の保存先として選択できます。
自作アニメ	－	連続撮影で登録したアニメーションおよび自作したアニメーションが保存されます。
microSDピクチャ	JPEG、GIF	撮影した静止画やFOMA端末からコピーしたJPEG形式の画像／GIF形式の画像、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したJPEG形式の画像／GIF形式の画像が保存されます。
microSDデコメ絵文字※2		FOMA端末からコピーしたデコメ絵文字、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したデコメ絵文字が保存されます。
microSDイメージボックス		FOMA端末からコピーしたGIF形式のアニメーション、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したJPEG形式の画像／GIF形式のアニメーションが保存されます。→P.367
フレーム	IFM	お買い上げ時に登録されているフレームが保存されています。ダウンロードしたフレーム、トルカから取得したフレームが保存されます。
スタンプ		お買い上げ時に登録されているマーカースタンプが保存されています。ダウンロードしたマーカースタンプ、トルカから取得したマーカースタンプが保存されます。

ミュージック

フォルダ	ファイル形式	データの内容
プレイリスト	－	FOMA端末で作成したプレイリストが保存されます。
INBOX	3GP	音楽データの保存先として選択できます。
SD-Audio	SA1	パソコンなどからmicroSDメモリーカードに転送した音楽データが保存されます。
WMA	WMA	
移行可能コンテンツ	SB2	FOMA端末とmicroSDメモリーカード間で移動した音楽データが保存されます（microSDメモリーカード内のデータです）。
プリインストール	3GP	お買い上げ時に登録されている音楽データが保存されています。
（ユーザ作成フォルダ1～20）		音楽データの保存先として選択できます。

iモーション

フォルダ	ファイル形式	データの内容
INBOX	MP4	すべての動画やiモーションの保存先として選択できます。microSDメモリーカードからコピー／移動した動画やiモーション、赤外線通信などで転送された動画やiモーションはINBOXフォルダに保存されます。 キャラ電撮影した動画はカメラフォルダに保存されます。
カメラ		
プリインストール		お買い上げ時に登録されているiモーションが保存されています。
シークレット※3		ほかの人に見られたくない動画、iモーションを保管します。
（ユーザ作成フォルダ1～20）		INBOX、カメラフォルダと同様に、動画やiモーションの保存先として選択できます。
microSD SDビデオ※4	MP4、ASF※5	撮影した動画、FOMA端末からコピーした動画やiモーション、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存した動画が保存されます。
microSD マルチメディア※6		
移行可能コンテンツ	SB1	FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動した動画やiモーションが保存されます（microSDメモリーカード内のデータです）。
プログラム※7	－	－

メロディ

フォルダ	ファイル形式	データの内容
INBOX	SMF、MFi	すべてのメロディの保存先として選択できます。 microSDメモリーカードからコピーしたメロディ、赤外線通信などで転送されたメロディはINBOXフォルダに保存されています。
プリインストール	MFi	お買い上げ時に登録されているメロディや効果音が保存されています。
（ユーザ作成フォルダ1～20）	SMF、MFi	INBOXフォルダと同様に、メロディの保存先として選択できます。
おしゃべり	－	おしゃべり機能で録音した音声が保存されます。
microSD	SMF、MFi	FOMA端末からコピーしたメロディやパソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したメロディが保存されます。
プログラム※7	－	－

マイドキュメント

フォルダ	ファイル形式	データの内容
INBOX	PDF	お買い上げ時に登録されているPDFデータが保存されています。 すべてのPDFデータの保存先として選択できます。 microSDメモリーカードからコピーしたPDFデータ、赤外線通信などで転送されたPDFデータはINBOXフォルダに保存されます。
（ユーザ作成フォルダ1～20）	PDF	INBOXフォルダと同様に、PDFデータの保存先として選択できます。
microSD		FOMA端末からコピーしたPDFデータ、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したPDFデータが保存されます。

キャラ電

フォルダ	ファイル形式	データの内容
－	AFD	お買い上げ時に登録されているキャラ電が保存されています。ダウンロードしたキャラ電が保存されます。

きせかえツール

フォルダ	ファイル形式	データの内容
－	UCM、UCP	お買い上げ時に登録されているパッケージが保存されています。 ダウンロードしたパッケージが保存されます。

ドキュメントビューア

フォルダ	ファイル形式	データの内容
microSD	Word、Excel、PowerPoint	メールに添付されていたドキュメント、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したドキュメントが保存されます。

※1：SWFとはFlash画像のファイル形式です。
※2：デコメ絵文字（横20×縦20ドット、ファイル制限なし）のみ保存できるフォルダです。
※3：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。お買い上げ時に登録されている画像／iモーションは保管できません。
※4：映像付きの動画やiモーションが保存されます。
※5：ASF形式は再生のみ可能です。
※6：映像のない音声のみの動画やiモーションが保存されます。
※7：プログラムフォルダは、プログラム再生に利用するためのフォルダです。データ保存やフォルダ削除などはできません。

■お願い

- データBOXに登録したデータの内容は、microSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、microSDメモリーカードまたはドコモケータイdatalink（P.474）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、データの内容をパソコンに保管することもできます（メールへの添付や本FOMA端末外への出力が禁止されている画像や動画、メロディは、microSDメモリーカードに保管したりパソコンに転送できません）。
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したデータが消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したデータは、microSDメモリーカードまたはドコモケータイdatalinkを利用してパソコンに保管くださるようお願いします。

〈マイピクチャ〉 MENU46

保存した画像を表示する

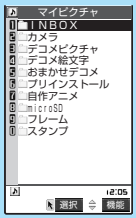
撮影した静止画やダウンロードした画像、microSDメモリーカードに保存されている画像は、データBOXのマイピクチャで表示します。

● 以下の画像は表示できません。
- 横または縦の最大が 2,304 ドットを超える画像
- 総ドット数が2,304×1,728ドットを超える画像
- ファイルサイズが2Mバイトを超える画像
- 横または縦の最大が854ドットを超えるプログレッシブJPEG形式、GIF形式の画像
- 総ドット数が 854 × 480 ドットを超えるプログレッシブJPEG 形式、GIF形式の画像

プログレッシブJPEG形式の画像→P.223

1 (MENU)▶「DATA BOX」▶「マイピクチャ」

「フォルダー覧画面」が表示されます。
シークレットモード、シークレット専用モードのときには、「シークレット」フォルダも表示されます。
マイピクチャのフォルダ内容について→ P.340



フォルダー覧画面

機能メニュー ➡P.375

2 フォルダを選択

「画像一覧画面（ピクチャー覧）」が表示されます。
画像一覧画面の見かたについて→P.342



画像一覧画面

機能メニュー ➡P.344

3 画像を選択

「マイピクチャ画面」が表示されます。
◎で前または次の画像を表示することができます。

■ 画像を拡大表示する場合
▶● [🔍]
画像が拡大表示されます。
(1)：押すたびに1段階ずつ拡大します。
(3)：押すたびに1段階ずつ縮小します。
元の表示に戻すときは、●［戻る］を押します。
画像が画面内に収まらないときは、◎またはニューロポインターで画像をスクロールできます。



マイピクチャ画面

機能メニュー ➡P.345

おしらせ

◆拡大表示をしているとき、◎で前または次の画像への切り替えや、機能メニューの表示はできません。
◆自作アニメ、GIF形式のアニメーション、Flash画像は拡大表示できません。
◆本体、microSDメモリーカード内のデータが多い場合、表示に時間がかかる場合があります。
◆Flash画像を再生する際の音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。音量を「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量になります。

microSDメモリーカードに保存されている画像を表示する

1「フォルダー覧画面」(P.342)▶「microSD」▶「ピクチャ」、「デコメ絵文字」または「イメージボックス」
「microSDフォルダー覧画面」が表示されます。

2 フォルダを選択▶画像を選択



例：microSDフォルダー覧画面（ピクチャ）

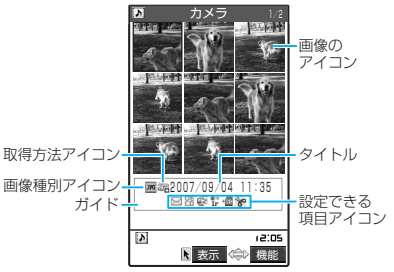
機能メニュー ➡P.376

ピクチャー覧／タイトル名一覧の見かた

■ ピクチャー覧

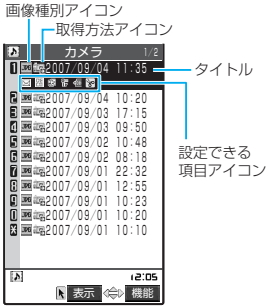
本体に保存されている画像は、画面に9枚※ずつ表示され、選択されている画像のタイトルがガイドに表示されます。また、画像種別とその取得方法、その画像が設定できる項目がアイコンで確認できます。

※： microSDメモリーカード（ピクチャ）に保存されている画像の場合は4枚ずつ表示されます。



■ タイトル名一覧

画面に11件の画像がタイトル名で表示され、画像種別とその取得方法、その画像が設定できる項目がアイコンで確認できます。



■ 画像種別アイコン

アイコン	説明
JPG	JPEG形式の画像※1
GIF	GIF形式の画像※1
	GIF（IFM）形式のフレーム、マーカースタンプ※1
	SWF形式のFlash画像
	MP4形式の動画、iモーション※1※2
(青色の音符)	音響効果のあるMP4形式のiモーション※1※2
(オレンジ色の音符)	ASF形式のiモーション
	MP4形式の再生制限付きのiモーション※2※3
	音響効果があり、再生制限付きのMP4形式のiモーション※3
※4／※5 (緑色の音符)	FOMA端末（本体）に移動可能なiモーション※6
※4／※5 (青色の音符)	音響効果があり、FOMA端末（本体）に移動可能なiモーション※6
／	FOMA端末（本体）への移動が禁止されているiモーション
	AFD形式のキャラ電
	FOMAカード動作制限に該当している画像

※1：ファイル制限が設定されているデータ、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているデータのアイコンには「 」が付きます。メールや赤外線通信機能、iC通信機能などではデータを送付できません。ただし、本FOMA端末で撮影した静止画、動画でファイル制限を設定した場合を除きます。

※2：部分的に取得したiモーションには「 」が表示されます。

※3：再生回数、再生期間、再生期限を過ぎたiモーションは「 」が「 」になります。

※4：iモーション保存時と同じFOMAカードを使用している場合のみ移動できます。

※5：iモーション保存時と同じ機種、同じFOMAカードを使用している場合のみ移動できます。

※6：再生回数、再生期間、再生期限付きのiモーションには「 」が表示されます。再生回数、再生期間、再生期限を過ぎた場合は「 」が「 」になります。

■ 取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	お買い上げ時に登録されているデータ
	サイトやメール、トルカなどからダウンロードしたり、iアプリから取得したデータ
	カメラで撮影したデータ
	赤外線通信やiC通信、microSDメモリーカード、バーコードリーダー、パソコンなどから取得したデータ
	キャラ電撮影したデータ
	フレーム・マーカースタンプ
	PDFデータから画面切り出しして取得したデータ

■ 設定できる項目アイコン

microSDメモリーカード（イメージボックス）では表示されません。

アイコン	説明
QVGA	QVGA（横320×縦240ドット）サイズの動画、iモーションデータ。iモーションの各フォルダでのみ表示されます。
VGA	VGA（横640×縦480ドット）サイズの動画、iモーションデータ。iモーションの各フォルダでのみ表示されます。
	iモードメールに添付できるデータ（2Mバイト以下）
	デコメールに挿入できるデータ
	画面などに設定できるデータ
	着信音に設定できるデータ
	位置情報が利用できるデータ
Ir	赤外線送信とiC送信が可能なデータ
	microSDメモリーカードにコピー可能なデータ
	編集可能なデータ
※1／※2	microSDメモリーカードに移動可能なiモーションデータ
	10Mバイト超（10Mバイトは含みません）のデータ。microSDフォルダでのみ表示されます。

※1：iモーション保存時と同じFOMAカードを使用している場合のみ移動できます。

※2：iモーション保存時と同じ機種、同じFOMAカードを使用している場合のみ移動できます。

次ページにつづく

■ タイトル、ファイル名について

- 内蔵カメラまたはキャラ電で撮影した静止画や動画には自動的にタイトルとファイル名が付きます。
  タイトル：yyyy/mm/dd　hh:mm
  （年／月／日　時刻）
  ファイル名：yyyymmddhhmmxxx
  　　年月日時刻
  （静止画の場合、xxxの部分に3桁の数字が付きます。）
  ※時刻：静止画は保存を完了した時刻、動画は撮影を終了した時刻になります。ただし、自動保存設定がOFFの場合は動画を保存した時刻が表示されます。
- ダウンロードしたｉモーションやキャラ電にはオリジナルのタイトルが付きます。
- ダウンロードした画像にはファイル名と同じタイトルが付きます。
- タイトルは FOMA 端末の画像一覧画面に表示される名前です。
- ファイル名はパソコンなどに送ったときに表示される画像データの名前です。
- ファイル名の末尾3桁の数字は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号として付けられます。
- ファイル名に不正な文字があるとき、ファイル名は「imagexxx」あるいは「moviexxx」になります。

● 画像一覧の表示のしかたを設定する〈ピクチャ表示設定〉

- 自作アニメ、microSDメモリーカード（イメージボックス）は常にタイトル名一覧表示です。

1 MENU▶「SETTINGS」▶「ディスプレイ」▶「ピクチャ表示設定」▶以下の項目から選択

ピクチャー覧（お買い上げ時）	ピクチャー覧に切り替えます。
タイトル名一覧	タイトル名一覧に切り替えます。

画像一覧画面の機能メニュー

- 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

イメージ編集	「静止画を編集する」→P.348
タイトル編集	**▶タイトルを編集** 選んだ画像のタイトルを編集します。全角文字で9文字、半角文字で18文字まで入力できます。microSDメモリーカード（ピクチャ）の場合、全角文字で18文字、半角文字で36文字まで入力できます。
イメージ表示	選んでいる画像を表示します（マイピクチャ画面を表示します）。
イメージ貼付	設定した項目には★が表示されます。 **■待受画面に設定する場合** **▶項目を選択▶表示方法を選択** **■電話発信、電話着信などの画面に設定する場合** **▶項目を選択** **■テレビ電話関係（テレビ電話発信、テレビ電話着信を除く）の画面に設定する場合** **▶項目を選択▶画像を確認▶●▶「YES」**
イメージ情報	「イメージ情報について」→P.346
位置情報	
・**地図を見る**	選んだ画像に付加されている位置情報からｉモードサイト（位置サイト）に接続し、周辺地図などを表示します。
・**メール貼り付け**※1	選んだ画像に付加されている位置情報をメール本文に貼り付けます。
・**対応ｉアプリを利用**	GPSに対応したｉアプリの一覧を表示します。
・**電話帳登録**	選んだ画像に付加されている位置情報を電話帳に登録します。
・**現在地確認から付加**	現在の位置情報を取得し選んだ画像に付加します。
・**位置履歴から付加**	確認した位置情報の履歴から選んだ画像に付加します。
・**位置情報詳細**	選んだ画像に付加されている位置情報を確認します。
・**位置情報削除**	選んだ画像に付加されている位置情報を削除します。
ｉモードメール作成※1	
・**画像添付**	「画像を添付したｉモードメールを作成する」→P.347
・**画像挿入**	「デコメールを作成する」→P.347
ｉC送信	「データを1件ずつ転送する」→P.381
赤外線送信	
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.149
microSDへコピー	「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.376
電話帳イメージ登録	選んでいる画像を電話帳に登録します。→P.107
ファイル名編集	**▶ファイル名を編集** 選んだ画像のファイル名を編集します。 半角の英字、数字と記号（"-"，"_"）で36文字まで入力できます（"-"，"_"以外の記号を入力することはできません）。
ファイル制限	選んだ画像のファイル制限を設定します。
・**なし**	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
・**あり**	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
フォルダ移動	「データをほかのフォルダに移動する」→P.376

保存容量確認	FOMA端末とmicroSDメモリーカードに保存されている画像の保存データ容量と空きデータ容量を確認します。ただし、FOMA端末の容量にシークレットの容量は含まれません。
ソート	指定した条件に従って画像を並び替えます。
タイトル名一覧、ピクチャー一覧	ピクチャー一覧／タイトル名一覧を切り替えます。
4枚画像合成	「4枚の画像を1枚の静止画に合成する」→P.347
PictBridge印刷	「保存した画像を印刷する」→P.392
お預りセンターに保存	「画像をお預かりセンターに保存する」→P.346
削除	「データを削除する」→P.377
シークレットに保管※2	「各種データを表示できないようにする」→P.164
本体へコピー※3	「microSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピーする」→P.377
DPOF設定※3	「microSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する」→P.394
コピー※3	「microSDメモリーカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.377

※1：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※2：「シークレットモード」または「シークレット専用モード」のときに表示されます。またシークレットフォルダのときは「シークレットから出す」になります。→P.164
※3：microSDメモリーカードに保存されている画像のときのみ表示されます。

おしらせ

＜タイトル編集＞
◆microSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないときは、タイトル編集できない場合があります。
◆お買い上げ時に登録されている画像はタイトル編集できません。

＜イメージ貼付＞
◆INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの画像の場合は、以下の画面に設定できます。
- 待受画面
- 電話発信
- テレビ電話発信
- メール送信
- 問い合わせ
- テレビ電話通話保留
- テレビ電話伝言メモ
- テレビ電話音声メモ
- ウェイクアップ表示
- 電話着信
- テレビ電話着信
- メール受信
- テレビ電話応答保留
- テレビ電話代替画像
- テレビ電話伝言準備

◆プリインストールフォルダの画像の場合は、待受画面、ウェイクアップ表示の画面に設定できます。
◆以下の画像はイメージ貼付できません。
- 横854ドットより大きい、または縦854ドットより大きい画像
- ファイル容量が100Kバイトを超える画像（待受画面とウェイクアップ表示を除く）

◆画像サイズや貼り付け先によっては、表示される大きさが実際のものと異なる場合があります。
◆画像によってはイメージ貼付できない場合があります。

＜電話帳イメージ登録＞
◆ファイル容量が100K バイト以下で、横または縦が854ドット以下の画像が登録できます。
◆JPEG形式、GIF形式以外の画像は登録できません。

＜ファイル名編集＞
◆以下の画像はファイル名編集できません。
- お買い上げ時に登録されている画像
- 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した静止画
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像

◆ファイル名に半角スペースを使用することはできません。

＜ファイル制限＞
◆以下の画像はファイル制限を設定できません。
- JPEG形式、GIF形式以外の画像
- 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した静止画

＜保存容量確認＞
◆表示される容量はおおよその目安です。シークレットフォルダの容量は、シークレットモード設定中またはシークレット専用モード設定中にのみ表示されます。

＜ソート＞
◆「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。
①ダウンロードしたり、ｉアプリやトルカから取得した画像
②カメラで撮影した画像
③赤外線通信やｉC通信、microSDメモリーカードなどから取得した画像
④キャラ電撮影した画像
⑤PDFデータから切り出した画像
⑥お買い上げ時に登録されている画像
※ フォルダによっては順序が異なる場合があります。

マイピクチャ画面の機能メニュー

● 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

イメージ編集	「静止画を編集する」→P.348
イメージ貼付	設定した項目には★が表示されます。 **■待受画面に設定する場合** **▶項目を選択▶表示方法を選択** **■電話発信、電話着信などの画面に設定する場合** **▶項目を選択** **■テレビ電話関係（テレビ電話発信、テレビ電話着信を除く）の画面に設定する場合** **▶項目を選択▶画像を確認▶●▶「YES」**
イメージ情報	「イメージ情報について」→P.346
位置情報	
・地図を見る	表示している画像に付加されている位置情報からｉモードサイト（位置サイト）に接続し、周辺地図などを表示します。
・メール貼り付け※1	画像に付加されている位置情報をメール本文に貼り付けます。

次ページにつづく

・対応ｉアプリを利用	GPSに対応したｉアプリの一覧を表示します。
・電話帳登録	表示している画像に付加されている位置情報を電話帳に登録します。
・現在地確認から付加	現在の位置情報を取得し画像に付加します。
・位置履歴から付加	確認した位置情報の履歴から画像に付加します。
・位置情報詳細	表示している画像に付加されている位置情報を確認します。
・位置情報削除	表示している画像に付加されている位置情報を削除します。
ｉモードメール作成※1	
・画像添付	「画像を添付したｉモードメールを作成する」→P.347
・画像挿入	「デコメールを作成する」→P.347
ｉC送信	「データを1件ずつ転送する」→P.381
赤外線送信	
画像表示設定	イメージ表示エリア（横240×縦427ドットまたは横480×縦854ドット）より小さな画像の表示方法を設定します。
・標準（お買い上げ時）	実際のサイズで表示します。
・画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.149
microSDへコピー	▶コピー先のフォルダを選択 表示している画像をコピーします。
電話帳イメージ登録	表示している画像を電話帳に登録します。→P.107
リトライ	アニメーションを表示しているとき、そのアニメーションの最初から再生します。
PictBridge印刷	「保存した画像を印刷する」→P.392
1件削除	表示している画像を削除します。
本体へコピー※2	表示している画像をコピーします。
DPOF設定※2	「microSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する」→P.394

※1：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※2：microSDメモリーカードに保存されている画像のときのみ表示されます。

● 画像をお預かりセンターに保存する〈電話帳お預かりサービス〉

「マイピクチャ」のINBOX、カメラ、デコメピクチャ、デコメ絵文字、おまかせデコメ、ユーザ作成フォルダ内の画像データを、ドコモのお預かりセンターに預けることができます。

- 本サービスを利用するには、「電話帳お預かりサービス」のお申し込みが必要です。
- 「電話帳お預かりサービス」をご契約されていない場合は、「電話帳お預かりサービス」未契約のお知らせが表示されます。その画面からサイトに接続してサービスを申し込むことができます。
電話帳お預かりサービスについて
→P.123、181

1「画像一覧画面」（P.342）▶i［機能］▶「お預りセンターに保存」

2 ◎で画像を選ぶ▶［完了］
画像は最大10件まで選択できます。

3 端末暗証番号を入力▶「YES」
お預かりセンターに接続して画像の保存を開始します。

4 ［完了］

おしらせ

◆1件あたりのファイル容量が100Kバイトを超える画像、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、お買い上げ時に登録されているデコメピクチャやデコメ絵文字は保存できません。

■ 画像を復元する

お預かりセンターに預けている画像データは、FOMA端末に復元することができます。復元は、ｉモードに接続して行います。ご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

● イメージ情報について

以下の情報が確認できます。

ファイル名	ファイル名を表示
ファイル種別	ファイル形式を表示 Flash画像のときは表示されません。
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日時：分）を表示
ファイル制限	ファイル制限の「あり／なし」を表示
表示サイズ	ファイルの表示サイズ（横×縦ドット）を表示 Flash画像のときは表示されません。
取得元	ファイルの取得元を表示
microSDへの移動※1	microSDメモリーカードへのコピーの「可／不可」を表示
本体への移動※2	FOMA端末本体へのコピーの「可／不可」を表示
イメージ貼付※1	イメージ貼付の設定先を表示 設定されていないときは「設定なし」の表示になります。
DPOF設定※3	
・枚数	設定されているプリント枚数を表示 設定されていないときは「設定なし」、100枚以上設定されているときは「＊＊」の表示になります。
・日付	日付設定の「あり／なし」を表示

※1：FOMA端末本体に保存されている画像のときのみ表示されます。
※2：microSDメモリーカードに保存されている画像のときのみ表示されます。
※3：microSDメモリーカード（ピクチャフォルダ）に保存されている画像のときのみ表示されます。

● 画像を添付したiモードメールを作成する

● 画像をそのまま添付できない場合は、添付できるように画像サイズやファイル容量を変更します。

1「画像一覧画面」(P.342)▶(i)［機能］▶「iモードメール作成」▶「画像添付」

■横240×縦320ドットまたは横320×縦240ドットより大きなJPEG形式の画像の場合
▶以下の項目から選択▶変更された画像を確認

そのまま添付	画像サイズを変更せずに添付します。
QVGA縮小添付	画像の横と縦の比率を保持したまま画像サイズを変更して添付します。

2 iモードメールを作成
iモードメールの作成／送信のしかた→P.243

おしらせ
◆位置情報が付加された画像の場合は、位置情報をメールに貼り付けるかどうかの確認メッセージが表示されます。
「YES」を選択すると、メール本文に位置情報URLが貼り付けられます。
◆以下の場合はiモードメール作成できません。
- 保存メールが20件あるとき、または保存BOXに空き容量がないとき
- Flash画像のとき
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像

● デコメールを作成する

● 画像をそのまま挿入できない場合は、挿入できるように画像サイズやファイル容量を変更します。

1「画像一覧画面」(P.342)▶(i)［機能］▶「iモードメール作成」▶「画像挿入」

■横128×縦96ドットまたは横96×縦128ドットより大きなJPEG形式の画像、またはデコメールへ挿入時に最大容量を超えたJPEG形式の画像の場合
▶以下の項目から選択▶変更された画像を確認

そのまま挿入	画像サイズを変更せずに挿入します。※
SubQCIF縮小挿入	画像の横と縦の比率を保持したまま画像サイズを変更して挿入します。※

※：デコメールへ挿入時にファイル容量が最大容量を超える場合は、ファイル容量も変更します。

2 デコメールを作成
デコメールの作成／送信のしかた→P.247

おしらせ
◆位置情報が付加された画像の場合は、位置情報をメールに貼り付けるかどうかの確認メッセージが表示されます。
「YES」を選択すると、メール本文に位置情報URLが貼り付けられます。
◆以下の場合はデコメール作成できません。
- 保存メールが20件あるとき、または保存BOXに空き容量がないとき
- 90Kバイトを超えるGIF形式の画像のとき
- Flash画像のとき
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像

● 4枚の画像を1枚の静止画に合成する

● 横640×縦480ドットより大きな画像、横480×縦640ドットより大きな画像は設定できません。

1「画像一覧画面」(P.342)▶(i)［機能］▶「4枚画像合成」

2 配置する位置を選択▶フォルダを選択▶画像を選択▶操作を繰り返して4枚の画像を選択

■設定した画像を解除する場合
▶解除する画像を選択▶フォルダの選択画面で「イメージ解除」



3 (✉)［完了］▶(●)

■4枚合成をし直す場合
▶(✉)［取消］

おしらせ
◆合成した画像は、4枚画像合成をはじめたときのフォルダに保存されます。
◆画像は横と縦の比率を保持したまま4枚合成されます。なお、合成に使用した元の画像はリサイズされません。
◆画像選択画面で(✉)［デモ］を押すと、選択している画像を確認することができますが、等倍表示はできません。

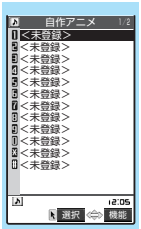
アニメーションを作成する〈自作アニメ〉

登録されている画像を使って20フレームまでのアニメーションを作成することができます。
● 20件まで作成できます。

次ページにつづく

1 (MENU)▶「DATA BOX」▶「マイピクチャ」▶「自作アニメ」
「自作アニメ一覧画面」が表示されます。

2「<未登録>」

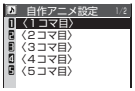


自作アニメ一覧画面

機能メニュー ➡P.348

3 フレームを選択▶フォルダを選択▶画像を選択▶操作を繰り返して画像を設定

■ 設定した画像を解除する場合
▶解除するフレームを選択▶フォルダの選択画面で「イメージ解除」



4 (✉)［完了］

おしらせ

◆画像選択画面で(✉)［デモ］を押すと、選んでいる画像を確認することができます。
◆静止画が設定されていないコマがある場合、設定されているコマのみ順番に再生されます。
◆画像サイズが横854×縦854ドット以下のJPEG形式の静止画や画像を自作アニメに設定できます。

自作アニメ一覧画面の機能メニュー

タイトル編集	**▶タイトルを編集** 反転表示した自作アニメのタイトルを編集します。 全角文字で9文字、半角文字で18文字まで入力できます。
自作アニメ設定	「<未登録>」を反転表示しているときは、自作アニメを新規登録します。 作成した自作アニメを反転表示しているときは、その自作アニメを編集します。
イメージ表示	反転表示した自作アニメを再生します(自作アニメ再生画面を表示します)。
イメージ貼付	**▶項目を選択** 反転表示した自作アニメを待受画面などに設定します。
イメージ情報	イメージ貼付で設定した自作アニメの設定先を確認します。 設定されていないときは「設定なし」の表示になります。
自作アニメ解除	反転表示した自作アニメを解除します。

おしらせ

<イメージ貼付>
◆以下の画面に設定できます。
- 待受画面
- 電話発信
- ウェイクアップ表示
- 電話着信
- テレビ電話発信
- テレビ電話着信
- メール送信
- メール受信
- 問い合わせ

自作アニメを表示する

1「自作アニメ一覧画面」(P.348)▶自作アニメを選択
「自作アニメ再生画面」が表示されます。
自作アニメを2つ以上登録しているときは、(○)で前または次の自作アニメを再生できます。



自作アニメ再生画面

機能メニュー ➡P.348

自作アニメ再生画面の機能メニュー

イメージ貼付	**▶項目を選択** 再生している画像を待受画面などに設定します。
画像表示設定	イメージ表示エリア(横240×縦427ドット)より小さな画像の表示方法を設定します。
・**標準** (お買い上げ時)	実際のサイズで表示します。
・**画面サイズで表示**	画面のサイズに拡大して表示します。
リトライ	アニメーションの最初から再生します。

おしらせ

<イメージ貼付>
◆以下の画面に設定できます。
- 待受画面
- 電話発信
- テレビ電話発信
- メール送信
- 問い合わせ
- ウェイクアップ表示
- 電話着信
- テレビ電話着信
- メール受信

〈イメージ編集〉

静止画を編集する

撮影した静止画や本体へコピーした画像などを編集することができます。
● 編集内容と画像サイズは以下のとおりです。

編集の内容	画像サイズ(編集前)
フレーム合成 ・フレーム付きの画像にします。→P.350	横480×縦854ドットまで※1
フォトレタッチ ・セピア調の画像にするなど、画像に効果を付けます。→P.349	横854×縦480ドット以下 横480×縦854ドット以下

編集の内容	画像サイズ（編集前）
マーカースタンプ • ハートなどのマーカースタンプを画像に貼り付けます。→P.350	横2,304×縦1,728ドット※2 横1,728×縦2,304ドット※2 横2,048×縦1,536ドット※2 横1,536×縦2,048ドット※2 横1,616×縦1,212ドット※2 横1,212×縦1,616ドット※2 横1,280×縦960ドット※2 横960×縦1,280ドット※2 横854×縦480ドット以下※3 横480×縦854ドット以下※3
文字スタンプ • 入力した文字のスタンプを画像に貼り付けます。→P.350	
トリミング • お好みのサイズに画像を切り抜きます。→P.351	
明るさ • 画像の明るさを調節します。→P.349	
回転 • 画像を左右90度または180度回転します。→P.349	
サイズ変更 • 画像サイズを変更します。→P.349	
逆光補正 • 逆光により暗くなっている部分をはっきりとした画像にします。→P.349	横854×縦480ドット以下 横480×縦854ドット以下
肌色補正 • 肌色の部分を補正し、きれいな画像にします。→P.349	

※1：横480×縦854ドット、横480×縦640ドット、横352×縦288ドット、横288×縦352ドット、横240×縦320ドット、横320×縦240ドット、横240×縦427ドット、横427×縦240ドット、横176×縦144ドット、横144×縦176ドット、横128×縦96ドット、横96×縦128ドット以外の画像はフレーム合成できません。
※2：横640×縦480ドット、または横480×縦640ドットに縮小してからの編集となります。
※3：編集項目によって画像サイズ（編集前）との関係で編集できない場合があります。

- 編集できる画像について→P.343
- 静止画確認画面の機能メニューで「画像編集」を選択した場合、編集できるのは「フレーム合成」、「フォトレタッチ」、「逆光補正」、「肌色補正」のみです。

1 「マイピクチャ画面」（P.342）▶[機能]▶「イメージ編集」

イメージ編集画面の機能メニュー（P.349）が表示されます。

2 編集する項目を選択

3 編集した画像を確認▶●

「イメージ編集画面」が表示されます。続けて編集する場合は[機能]を押して、編集する項目を選択します。



イメージ編集画面

機能メニュー ➡P.349

4 ●▶「YES」または「NO」

「YES」を選択したときは、編集元の画像に上書きされます。「NO」を選択したときは、編集元の画像と同じフォルダに新規保存されます。

おしらせ

◆画像の編集を繰り返して行うと、画質が劣化したり、ファイル容量が増える場合があります。
◆画像によっては、編集効果が表れにくい場合があります。

イメージ編集画面の機能メニュー

フレーム合成	「フレームを重ねる」→P.350
フォトレタッチ	画像に効果を付けます。
・シャープ	よりシャープな感じの画像にします。
・ソフト	よりソフトな感じの画像にします。
・セピア	セピア調の画像にします。
・浮き彫り	レリーフのような浮き彫り効果のある画像にします。
・ネガ	ネガ画像にします。
・ミラー	左右を反転した画像にします。
マーカースタンプ	「マーカースタンプを貼り付ける」→P.350
文字スタンプ	「文字スタンプを貼り付ける」→P.350
トリミング	「トリミングする」→P.351
明るさ	▶で明るさを調節▶● 画像の明るさを「−2〜±0〜+2」の5段階で調節します。
回転※1	画像を回転します。 「右90度」、「左90度」、「180度」から選択できます。
サイズ変更	縦横の比率を保ち、選択したサイズを超えない最大のサイズに拡大／縮小を行います。 「VGA（640×480）」、「CIF（352×288）」、「QVGA（320×240）」、「QCIF（176×144）」、「SubQCIF（128×96）」、「フルスクリーン（480×854）」、「VGA縦（480×640）」、「フルスクリーン（240×427）」、「QVGA縦（240×320）」、「CIF縦（288×352）」、「QCIF縦（144×176）」、「SubQCIF縦（96×128）」から選択できます。※2
逆光補正	逆光により暗くなっている部分をはっきりとした画像にします。
肌色補正	肌色の部分を補正し、きれいな画像にします。

次ページにつづく

iモードメール作成※3	「画像を添付したiモードメールを作成する」→P.347
保存	編集した画像を保存します。

※1：回転すると画像の縦横比が変わる場合があります。
※2：( )内の数字は横×縦のドット数で画像のサイズを表しています。
※3：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

● フレームを重ねる

- お買い上げ時に登録されているフレーム（P.493）のほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。

1「マイピクチャ画面」（P.342）▶(i)［機能］▶「イメージ編集」▶「フレーム合成」▶フレームを選択

フレームが重なった画像が表示されます。
⊕でほかのフレームに変更することができます。

■ フレームを180°回転する場合
▶(✉)［回転］

■ 設定したフレームを取り消す場合
▶(i)［機能］▶「取消」

おしらせ

◆ダウンロードしたフレームには縦向きと横向きのものがあり、画像のサイズが同じ場合のみフレーム合成できます。
◆トリミングやサイズ変更した画像がフレームと同じサイズのときはフレーム合成できます。このとき、サイズ変更してフレーム合成した画像は、画質が劣化する場合があります。

● マーカースタンプを貼り付ける

- お買い上げ時に登録されているマーカースタンプのほかに、ダウンロードしたスタンプを利用することもできます。
- マーカースタンプを回転したり、拡大／縮小することができます。

1「マイピクチャ画面」（P.342）▶(i)［機能］▶「イメージ編集」▶「マーカースタンプ」▶マーカースタンプを選択

■ マーカースタンプを編集する場合
▶(i)［機能］▶以下の項目から選択

右90度	時計回りに90度回転します。
左90度	反時計回りに90度回転します。
180度	180度回転します。
拡大	2倍のサイズに拡大します。
縮小	1／2のサイズに縮小します。

2 マーカースタンプの位置を決定▶●

⊕またはニューロポインターでマーカースタンプの位置を調整できます。

■ ほかのマーカースタンプを押す場合
▶(✉)［追加］▶操作1～2を繰り返す



おしらせ

◆ダウンロードして使用できるスタンプのサイズは横240×縦240ドット以下の画像となります。それ以外はGIF画像として扱われます。
◆マーカースタンプの拡大や縮小は繰り返して操作できます。
◆編集する静止画のサイズよりマーカースタンプを拡大することはできません。また、1ドット未満に縮小することはできません。

● 文字スタンプを貼り付ける

お買い上げ時	文字色：黒　フォント：ゴシック体 文字サイズ：通常サイズ

- 一度に入力できる最大文字数は全角文字で1～15文字、半角文字で3～30文字です。ただし、入力できる文字数は画像サイズ、文字サイズによって変わります。
- 文字スタンプの色、フォント、文字サイズを変更することができます。

1「マイピクチャ画面」（P.342）▶(i)［機能］▶「イメージ編集」▶「文字スタンプ」▶文字を入力

■ 文字スタンプを編集する場合
▶(i)［機能］▶以下の項目から選択

文字入力	▶文字を入力 文字を入力し直します。
文字色	▶⊕で色を選択 文字スタンプの色を設定します。 色パレットを切り替えるときは(✉)［切替］を押します。
フォント	文字スタンプのフォントを「ゴシック体」または「ポップ体」から選択します。
文字サイズ	文字スタンプの大きさを「拡大サイズ」、「通常サイズ」、「縮小サイズ」から選択します。

2 文字スタンプの位置を決定▶●

⊕またはニューロポインターで文字スタンプの位置を調整できます。



おしらせ

◆フォントの太さは「フォント設定」で設定した太さになります。

● トリミングする

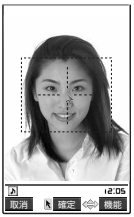
1「マイピクチャ画面」(P.342)▶(i)[機能]▶「イメージ編集」▶「トリミング」

「VGA（640×480）」、「CIF（352×288）」、「QVGA(320×240)」、「QCIF(176×144)」、「SubQCIF（128×96）」、「VGA縦（480×640）」、「フルスクリーン（240×427）」、「QVGA縦（240×320）」、「CIF縦（288×352)」、「QCIF縦（144×176)」、「SubQCIF縦（96×128）」、「メニューアイコン（64×80)」、「チャット(80×80)」から選択できます。※

※：（）内の数字は横×縦のドット数で画像のサイズを表しています。

2 切り抜き枠の位置を決定▶●

●またはニューロポインターで切り抜き枠の位置を調整できます。



〈i モーション〉

撮影した動画／i モーションを再生する

撮影した動画、i モードのサイトやインターネットホームページから取得したi モーション、microSDメモリーカードに保存されている動画は、データBOXのi モーションで再生します。また、VGA（640×480）以下の動画を回転させ、横画面で再生することもできます。

- i モーションのFOMA端末への取得について →P.234
- 「連続再生設定」で、動画やi モーションの再生開始後、FOMA端末を折り畳んだ状態で音声のみの再生ができます。→P.355

1(MENU)▶「DATA BOX」▶「i モーション」

「フォルダー覧画面」が表示されます。

シークレットモード、シークレット専用モードのときには、「シークレット」フォルダも表示されます。

i モーションのフォルダ内容について→P.341



フォルダー覧画面

機能メニュー ➡P.375

2 フォルダを選択

「動画一覧画面」（プレビュー表示）が表示されます。

動画一覧画面の見かたについて→P.352



動画一覧画面（プレビュー表示）

機能メニュー ➡P.352

■ 部分的に取得したi モーションの場合

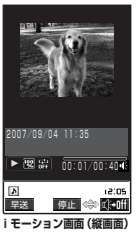
残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。残りのデータを取得しないと再生ができません。

- 「YES」を選択すると、未取得部分の取得を開始します。
- 「NO」を選択すると動画一覧画面に戻ります。

3 動画を選択

「i モーション画面」が表示され、動画の再生がはじまります。

再生中の操作について →P.354



i モーション画面（縦画面）

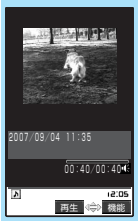
■「続きを再生しますか？YES/NO」と表示された場合

- 「YES」を選択すると、前回停止位置から再生を開始します。
- 「NO」を選択すると最初から再生します。



i モーション画面（横画面）

再生が終了すると、「i モーション停止画面」になります。



i モーション停止画面

機能メニュー ➡P.355

おしらせ

◆動画やi モーションの再生中にメールやメッセージR/Fなどを受信した場合、映像や音声が途切れる場合があります。

◆FOMA N904i以外で撮影した動画は正しく再生できない場合があります。

◆以下のような場合は、動画やi モーションを前回終了位置から再生できます。ただし、正確な前回終了位置から再生できない場合があります。

- 再生中に音声着信などがあった場合
- CLRまたは(−)によって再生が終了した場合

◆i モーションによってはチャプターを選択して再生することもできます。

次ページにつづく

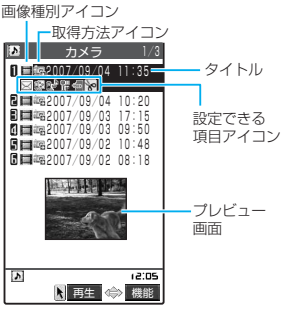
◆初めて動画やｉモーションを再生する場合は、全画面で再生するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると画面のサイズに拡大し、「NO」を選択すると実際のサイズで再生します。

プレビュー表示／タイトル一覧の見かた

- 画像種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.343
- タイトル、ファイル名について→P.344

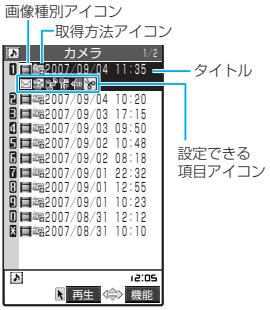
■プレビュー表示

画面に6件の動画がタイトル一覧で表示され、選択されている動画のプレビュー画像がタイトル一覧の下に表示されます。また、画像種別とその取得方法、その動画が設定できる項目がアイコンで確認できます。
音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）などはプレビュー画面に表示されません。



■タイトル一覧

画面に11件の動画がタイトル一覧で表示され、画像種別とその取得方法、その動画が設定できる項目がアイコンで確認できます。



動画一覧画面の機能メニュー

- 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

ｉモーション編集※1	「動画を編集する」→P.356
タイトル編集	▶タイトルを編集 反転表示した動画のタイトルを編集します。 ■INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの場合 全角文字で9文字、半角文字で18文字まで入力できます。 ■microSD、移行可能コンテンツフォルダの場合 全角文字で18文字、半角文字で36文字まで入力できます。
着信音設定※2	反転表示した動画を着信音に設定します。→P.126
待受画面設定※2	反転表示した動画を待受画面に設定します。→P.137
ｉモーション情報	「ｉモーション情報について」→P.353
ｉモードメール作成※3※4	反転表示した動画を添付したｉモードメールを作成します。
ｉC送信※1	「データを1件ずつ転送する」→P.381
赤外線送信※1	
microSDへコピー※1	「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.376
microSDへ移動※1	「動画／ｉモーションをmicroSDメモリーカードに移動する」→P.357
フォルダ移動	「データをほかのフォルダに移動する」→P.376
デスクトップ貼付※1	「デスクトップアイコンを利用する」→P.149
ファイル名編集※1	▶ファイル名を編集 反転表示した動画のファイル名を編集します。 半角の英字、数字と記号（"-"、"_"）で36 文字まで入力できます（"-"、"_"以外の記号を入力することはできません）。
ファイル制限※1	
・なし	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
・あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
タイトル初期化	変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。
保存容量確認	FOMA端末とmicroSDメモリーカードに保存されている動画の保存データ容量と空きデータ容量を確認します。ただし、FOMA端末の容量にはシークレットの容量は含まれません。
ソート※1	指定した条件に従って動画を並び替えます。

一覧表示切替	動画の一覧表示のしかたを設定します。
・**タイトル**※1	タイトル一覧表示に切り替えます。
・**タイトル＋画像**※1（お買い上げ時）	プレビュー表示に切り替えます。
・**名前**※5※6	タイトル一覧表示（またはファイル名一覧表示）に切り替えます。
・**名前＋画像**※5※6（お買い上げ時）	プレビュー表示に切り替えます。
・**タイトル表示、ファイル名表示**※5	ファイル名表示／タイトル表示を切り替えます。
削除	「データを削除する」→P.377
シークレットに保管※7	「各種データを表示できないようにする」→P.164
本体へコピー※5	「microSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピーする」→P.377
本体へ移動※8	「microSDメモリーカードのｉモーションをFOMA端末に移動する」→P.357
コピー※5	「microSDメモリーカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.377

※1：FOMA端末本体のフォルダに保存されている動画のときのみ表示されます。
※2：FOMA端末本体のフォルダまたは移行可能コンテンツフォルダに保存されている動画やｉモーションのときに表示されます。
※3：FOMA端末本体のフォルダまたはmicroSDフォルダに保存されている動画やｉモーションのときに表示されます。
※4：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※5：microSDメモリーカードに保存されている動画やｉモーションのときのみ表示されます。
※6：名前は、ファイル名かタイトルのどちらかです。
※7：「シークレットモード」または「シークレット専用モード」のときに表示されます。またシークレットフォルダのときは「シークレットから出す」になります。
※8：移行可能コンテンツフォルダに保存されている動画やｉモーションのときのみ表示されます。

おしらせ

＜着信音設定＞
◆以下の場合は着信音に設定できません。
- 音声がない動画やｉモーションのとき
- 再生制限付きのｉモーションのとき
- テロップ付きの動画やｉモーションのとき

◆着信音設定が「可」の動画やｉモーションのみ設定できます。着信音設定の「可／不可」は、「ｉモーション情報」で確認できます。
◆QVGA（320×240）を超えていてVGA（640×480）以下の場合は着信音に設定できません。
◆VGA（640×480）を超える動画を着信音に設定した場合、設定した画面においてｉモーションの画像は表示されません。
◆プッシュトークの着信音に設定できるｉモーションは、音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）です。

＜待受画面設定＞
◆以下の場合は待受画面に設定できません。
- 音声だけの動画やｉモーション、テキストだけのｉモーションのとき
- 再生制限付きのｉモーションのとき
- QVGA（320×240）より大きいサイズの動画のとき

◆動画によっては、待受画面で正しく表示されない場合があります。
◆待受画面に設定したｉモーションからWeb To機能、Mail To機能、Phone To／AV Phone To機能は利用できません。

＜ｉモードメール作成＞
◆以下の場合はｉモードメール作成できません。
- 保存メールが20件あるとき、または保存BOXに空き容量がないとき
- 再生制限付きのｉモーションのとき
- 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した動画のとき
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているｉモーションのとき

＜保存容量確認＞
◆表示される容量はおおよその目安です。シークレットフォルダの容量は、シークレットモード設定中またはシークレット専用モード設定中にのみ表示されます。

＜ソート＞
◆「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。また、同じ取得元アイコンの動画やｉモーションは、「ファイル取得元順」を選択する前の順番でソートされます。
①ダウンロードしたり、ｉアプリから取得したｉモーション
②カメラで撮影した動画
③赤外線通信、ｉC送信やmicroSDメモリーカードなどから取得した動画
④キャラ電撮影した動画

● ｉモーション情報について

以下の情報が確認できます。

ファイル名	ファイル名を表示
フォーマット	ファイル形式を表示
初期タイトル	オリジナルタイトル名を表示
作成者	ファイルの作成者情報を表示 情報がないときは「不明」の表示になります。
コピーライト	ファイルの著作権情報を表示 情報がないときは「不明」の表示になります。
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日　時：分）を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示
表示サイズ	ファイルの表示サイズ（横×縦ドット）を表示
取得元	ファイルの取得元を表示
説明	ファイルの説明を表示 情報がないときは「不明」の表示になります。
ファイル制限	ファイル制限の「あり／なし」を表示

次ページにつづく

再生制限	
・回数制限がある場合	残り再生回数と全再生回数を表示
・期限制限がある場合	再生期限日時を表示
・期間制限がある場合	「再生開始可能日時～再生期限日時」を表示
・再生制限がない場合	「なし」と表示
ビデオ	映像の「あり／なし／再生不可」を表示
オーディオ	音声の情報「AMR／AAC／なし／再生可／再生不可（MP4）／再生不可(ASF)／Enhanced aacPlus／HE-AAC」を表示
テキスト	テキストの「あり／なし／再生不可」を表示
microSDへの移動※1	microSDメモリーカードへの移動またはコピーの「可／不可」を表示※2 同じ機種間での移動のみ可能なときは「可（同一機種間）」と表示されます。
本体への移動※3	FOMA端末本体への移動またはコピーの「可／不可」を表示 同じ機種間での移動のみ可能なときは「可（同一機種間）」と表示されます。
着信音設定※4	着信音設定の「可／不可」を表示 着信音に設定されているときは、設定先が表示されます。
着信画面設定	着信画面設定の「可／不可」を表示 着信画面に設定されているときは、設定先が表示されます。

※1：FOMA端末本体に保存されている動画やｉモーションのときのみ表示されます。
※2：実行中のｉアプリからみた場合は目安になります。
※3：microSDメモリーカードに保存されている動画やｉモーションのときのみ表示されます。
※4：移行可能コンテンツフォルダに保存されている動画またはｉモーションは、「不可」固定表示となりますが、着信音に設定できるものもあります。

ｉモーション再生中の操作について

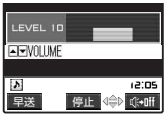
ｉモーション再生中には以下の操作を行うことができます。



再生中の場合



テロップ表示の場合



音量調節の場合

操作ボタン	動作
●	一時停止／再生を再開
▲、▼[MEMO/CHECK]	音量調節
◀▶	前後の動画やｉモーションの再生※1※2
▶▶	早送り再生※2
■	消音（ミュート）（音声や音楽がないときは無効になります）
◀◀（1秒以上）	スキップ戻し※3
▶▶（1秒以上）	スキップ送り※3
●で再生一時停止後、▶▶	コマ送り（押すごとにコマが進みます）※2
●で再生一時停止後、機能メニューから「スロー再生」	スロー再生※2
CLR	終了

※1：「データ取得完了画面」（P.234）から再生した場合は、操作できません。
※2：ストリーミングタイプのｉモーションやデータを取得しながら再生しているｉモーションでは操作できません。
※3：ｉモーションによっては利用できない場合があります。

おしらせ

◆お買い上げ時のｉモーションの音量は「レベル10」に設定されています。音量は「レベル0」～「レベル20」まで設定でき、次回も設定した音量で再生されます。
◆ｉモーションで設定した音量は、「着信音量」で設定されている着信音量などには反映されません。
◆シーク（スキップ戻し、スキップ送り）は、動画の再生中（スロー再生、早送り再生も含む）または一時停止中に実行できます。
◆シーク（スキップ戻し、スキップ送り）中は無音です。
◆以下の場合はシーク（スキップ戻し、スキップ送り）ができません。
- ストリーミングタイプのｉモーションを再生中のとき
- データを取得しながら再生できるｉモーションを再生中のとき
- シークポイントがないｉモーションのとき
- シークポイントの間隔が広いｉモーションのとき
- シークポイントが先頭にしかないｉモーションのとき
- 音声のみのASFファイルでシーク情報がないｉモーションのとき

◆シーク（スキップ戻し、スキップ送り）やコマ送り中にテロップは表示されません。

● Phone To機能、Mail To機能、Web To機能を利用する

● 以下の場合は、Phone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能（P.226）を利用できます。
- 再生が終わった後、または停止した後に画面に下線の付いた電話番号やメールアドレス、URLが表示された場合
- 動画再生中のテロップに電話番号やメールアドレス、URLが表示されたとき、機能メニューから「リンク選択」を選択した場合

- Phone To／AV Phone To機能やMail To機能を利用できる場合は、電話帳に登録できます。再生が終わった後に表示される画面で「電話帳登録」を選択します。
- 電話帳の登録について
「電話帳に登録する」→P.107



Phone To機能の場合



Mail To機能の場合



Web To機能の場合

iモーション停止（一時停止）画面の機能メニュー

- 再生した画像や選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

通常再生	一時停止のとき、一時停止した位置から再生を再開します。
スロー再生	スロー再生をします。通常の再生に戻るときは、[メール]［再生］を押すか、一時停止させて機能メニューから「通常再生」を選択します。
早送り再生	早送り再生をします。通常の再生に戻るときは、[メール]［再生］を押すか、一時停止させて機能メニューから「通常再生」を選択します。
停止	iモーションを終了して動画一覧画面に戻ります。
再生位置選択	▶[マルチ]▶**再生したい位置を選択**▶[●] 位置を指定して再生をはじめます。
チャプター一覧	チャプターを一覧で表示します。 チャプターを選択すると、選択したチャプターが再生されます。
リンク選択	動画再生中のテロップに電話番号やメールアドレス、URLが表示されたとき、Phone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能（P.226）を利用できます。
iモーション編集	「動画を編集する」→P.356
iモードメール作成※1	表示している動画を添付したiモードメールを作成します。
着信音設定	表示している動画を着信音に設定します。
待受画面設定	再生している動画を待受画面に設定します。
連続再生設定 （お買い上げ時：OFF）	フォルダ内のファイル順にiモーションを連続再生するかどうかを設定します（本FOMA端末ではリピート再生となります）。動画やiモーションの再生開始後、FOMA端末を折り畳んだ状態で音声のみを再生することもできます。 「ON」（連続再生）または「OFF」から選択します。
iモーション情報	「iモーション情報について」→P.353
iC送信	「データを1件ずつ転送する」→P.381
赤外線送信	
microSDへコピー	▶**コピー先のフォルダを選択** 表示している動画をコピーします。
本体へコピー※2	表示している動画をコピーします。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.149
再生画面設定	
・**通常画面モード** （お買い上げ時）	実際のサイズで再生します。
・**全画面モード**	画像を横向きにし、画面のサイズに拡大して再生します。
画像表示設定	
・**標準** （お買い上げ時）	実際のサイズで再生します。
・**画面サイズで表示**	画面のサイズに拡大して再生します。
ヘルプ	ボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。

※1：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※2：microSDメモリーカードに保存されている動画やiモーションのときのみ表示されます。

おしらせ

＜スロー再生＞
◆スロー再生中は無音です。
◆ストリーミングタイプのiモーションやデータを取得しながら再生しているiモーションは、スロー再生できません。

＜早送り再生＞
◆早送り再生中は無音です。
◆ストリーミングタイプのiモーションやデータを取得しながら再生しているiモーションは、早送り再生できません。

＜再生位置選択＞
◆動画やiモーションによっては、再生位置を選択できない場合があります。

＜チャプター一覧＞
◆チャプター情報がないiモーションは、チャプター一覧を表示できません。

＜iモードメール作成＞
◆以下の場合はiモードメール作成できません。
- 保存メールが20件あるとき、または保存BOXに空き容量がないとき
- 再生制限付きのiモーションのとき
- 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した動画のとき
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているiモーションのとき

次ページにつづく

＜着信音設定＞
◆以下の場合は着信音に設定できません。
・音声がない動画やｉモーションのとき
・再生制限付きのｉモーションのとき
・テロップ付きの動画やｉモーションのとき
◆着信音設定が「可」の動画やｉモーションのみ設定できます。着信音設定の「可／不可」は、「ｉモーション情報」で確認できます。
◆QVGA（320×240）を超えていてVGA（640×480）以下の場合は着信音に設定できません。
◆VGA（640×480）を超える動画を着信音に設定した場合、設定した画面においてｉモーションの画像は表示されません。
◆プッシュトークの着信音に設定できるｉモーションは、音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）です。

＜待受画面設定＞
◆以下の場合は待受画面に設定できません。
・音声だけの動画やｉモーション、テキストだけのｉモーションのとき
・再生制限付きのｉモーションのとき
・QVGA（320×240）より大きいサイズの動画のとき
◆動画によっては、待受画面で正しく表示されない場合があります。
◆待受画面に設定したｉモーションからWeb To機能、Mail To機能、Phone To／AV Phone To機能は利用できません。

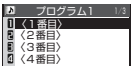
＜連続再生設定＞
◆ｉモーションを終了した後も連続再生設定の設定は保持されます。
◆連続再生設定を「ON」に設定している場合、再生できないデータは自動的にスキップして連続再生します。また、ｉモーションからのPhone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能は利用できません。
◆再生制限付きのｉモーションなどを再生しようとすると、その制限についてのメッセージ画面が表示され連続再生が停止する場合があります。

● 動画を好きな順に再生する〈動画プログラム再生〉

ｉモーションや動画を選んで登録すると、連続して再生できます。ｉモーションや動画は1つのフォルダに25件まで登録できます。フォルダはプログラム1～5の5つがあります。

1「フォルダー覧画面」（P.351）▶「プログラム」を選択▶登録するフォルダを反転表示して[i]［機能］▶「プログラム編集」▶登録する番号を選択▶フォルダを選択▶動画を選択▶操作を繰り返して登録

■登録した動画を解除する場合
▶解除したい動画を選択▶フォルダ選択画面で「ムービー解除」▶「YES」



2 [メール] ［完了］
ｉモーションのプログラムフォルダー覧画面が表示されます。
プログラムフォルダを選択するとプログラム再生がはじまり、登録した動画が繰り返し再生されます。

おしらせ
◆プログラム再生で登録したｉモーションや動画を削除した場合、削除したファイルはプログラム再生からも削除されます。
◆microSDメモリーカードから登録できるｉモーションや動画は、ファイルサイズが約2Mバイトまでのデータです。

プログラムフォルダー覧画面の機能メニュー

プログラム編集	プログラム編集を開始します。すでにプログラムされているときは、プログラムを編集することができます。
プログラム解除	プログラムを解除します。

〈動画編集〉

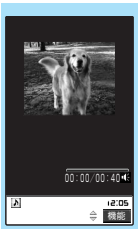
動画を編集する

● 動画編集中は、マルチタスク機能を利用できません。
● 編集できる動画について→P.343

＜例：INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの動画一覧画面＞

1「動画一覧画面」（P.351）▶[i]［機能］▶「ｉモーション編集」
「動画編集画面」が表示されます。

2 [i] ［機能］▶編集する項目を選択→P.356



動画編集画面

機能メニュー ➡P.356

おしらせ
◆動画編集によって画質が劣化する場合があります。
◆編集後の確認画面で電話がかかってきたり、電池がなくなった場合、FOMA端末を折り畳んだ場合は、確定している編集内容で保存されます。ただし、保存されている動画がいっぱいのときは保存されません。
◆動画編集中に表示されるファイル容量は目安です。

動画編集画面の機能メニュー

ｉモーション切り出し	「動画の一部を切り出す」→P.357
ｉモードメール作成※	編集した動画を添付したｉモードメールを作成します。

ファイル制限	
・なし	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
・あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。

※： 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

＜ｉモードメール作成＞

◆保存メールが20件ある場合、または保存BOXに空き容量がない場合はｉモードメール作成できません。

● 動画の一部を切り出す

1 「動画編集画面」（P.356）▶(i)［機能］▶「ｉモーション切り出し」▶✉［始点］

切り出しが開始されます。

■ 途中の場面から切り出す場合

▶●▶切り出しを開始する場面で●▶✉［始点］

2 切り出したい最後の場面で●▶✉［終点］

切り出した動画が再生され、再生が終了したら自動的に停止します。

■ もう一度確認する場合

▶✉［デモ］

3 ●▶●▶「YES」

おしらせ

◆切り出し中は、切り出したときのおおよそのファイル容量が表示されます。

◆QCIF（176×144）より大きなサイズの動画は切り出しできません。

〈コンテンツ移行対応〉

動画／ｉモーションをmicroSDメモリーカードに移動する

● 移動処理中はmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因となります。移動中にmicroSDメモリーカードを抜いた場合、移動中のデータが失われることもあります。

FOMA端末のｉモーションをmicroSDメモリーカードに移動する

著作権のある移動可能なｉモーションをmicroSDメモリーカードに移動します。移動したｉモーションは、ｉモーションの「移行可能コンテンツ」フォルダ（P.341）内に保存されます。

1 「動画一覧画面」（P.351）▶(i)［機能］▶「microSDへ移動」▶以下の項目から選択

1件移動	▶移動先のフォルダを選択▶● 反転表示したｉモーションを1件移動します。
選択移動	▶移動先のフォルダを選択▶●▶✣で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］▶「YES」 複数のｉモーションを選択して移動できます。
全移動	▶端末暗証番号を入力▶移動先のフォルダを選択▶●▶「YES」 一覧表示を行っているフォルダ内のすべてのｉモーション（移動不可を除く）を移動します。

おしらせ

◆再生制限が切れたｉモーションや、部分的に取得したｉモーションはmicroSDメモリーカードに移動できません。

◆ｉモーションの移動可否は「設定できる項目アイコン」（P.343）で確認できます。

◆microSDメモリーカードに移動中、✉[中止]を押して中止操作を行った場合、✉[中止]を押すタイミングによっては中止されないことがあります。

microSDメモリーカードのｉモーションをFOMA端末に移動する

ｉモーションの「移行可能コンテンツ」フォルダ（P.341）内に保存されているｉモーションをFOMA端末に移動します。

● 移動したｉモーションは、ｉモーションのINBOXフォルダに保存されます。

1 「フォルダー覧画面」（P.351）▶「移行可能コンテンツ」▶フォルダを選択▶●

「動画一覧画面」（P.351）が表示されます。

2 (i)［機能］▶「本体へ移動」▶以下の項目から選択

1件移動	反転表示したｉモーションを1件移動します。
選択移動	▶✣で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］▶「YES」 複数のｉモーションを選択して移動できます。
全移動	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 一覧表示を行っているフォルダ内のすべてのｉモーション（移動不可を除く）を移動します。

おしらせ

◆再生制限が切れたｉモーションは、FOMA端末に移動できません。

◆ｉモーションの移動可否は「画像種別アイコン」（P.343）で確認できます。

〈キャラ電〉

キャラ電とは

テレビ電話をお使いのときに、相手のFOMA端末に自分側のカメラ映像を送信する代わりにキャラクタを代替画像として送信することができます。
また、テレビ電話中にキャラ電で操作できるアクションを確認したり、キャラ電を静止画や動画として撮影して楽しむこともできます。

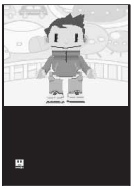
キャラ電を表示する

お買い上げ時	画像表示設定：画面サイズで表示 代替画像設定：Dimo

- キャラ電をダウンロードする→P.225
- お買い上げ時に登録されているキャラ電は以下のとおりです。



Dimo



ビーンズ（Beans）



サンデー（Sunday）

1 MENU▶「DATA BOX」▶「キャラ電」

「キャラ電一覧画面」が表示されます。
キャラ電一覧画面の見かたについて→P.358



キャラ電一覧画面

機能メニュー ➡P.359

2 キャラ電を選択

「キャラ電画面」が表示されます。
キャラ電の操作について→P.358

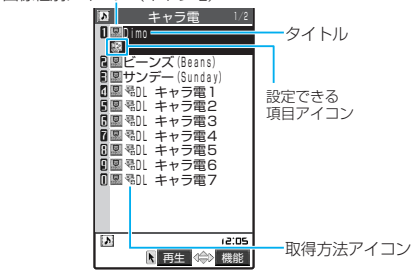


キャラ電画面

機能メニュー ➡P.359

キャラ電一覧の見かた

- 画像種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.343
- タイトル、ファイル名について→P.344



キャラ電を操作する

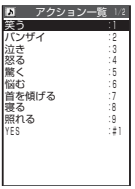
用意されているいろいろなアクションから選択して再生できます。

1「キャラ電画面」（P.358）▶キャラ電を操作する

■ アクション一覧を確認する場合

▶*

一覧表示されるアクションは、キャラ電の種類によって異なります。
アクション一覧でアクション名の右にある「1」や「#1」などは、キャラ電表示中にそのダイヤルボタンを押すと、対応するアクションを再生することを示しています。



■ アクションの詳細を確認する場合

▶アクションを反転表示▶✉［詳細］▶詳細を確認▶ⓘ［閉］

■アクションモードを切り替える場合

▶(メール)［パーツ］または(メール)［全体］

が表示されているときはパーツアクションモードに、が表示されているときは全体アクションモードに切り替わります。

(全体アクション)：

感情などキャラ電全体の動きを表現するアクションモードです。

(パーツアクション)：

頭や手足などのキャラ電の部分的な動きを表現するアクションモードです。

■キャラ電表示中にダイヤルボタンでアクションを選択する場合

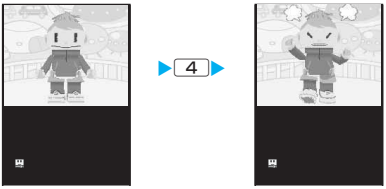
キャラ電表示中の画面で以下のダイヤルボタンを押してアクションを再生します。

「全体アクション」：
アクション一覧でアクション名の右にある1桁の数字(1)～(9)または(#)(1)～(#)(9)

「パーツアクション」：
アクション一覧でアクション名の右にある2桁の数字（(1)(1)～(9)(9)）

＜例：全体アクション「怒る」を選択する場合＞
※キャラ電は正像表示です。

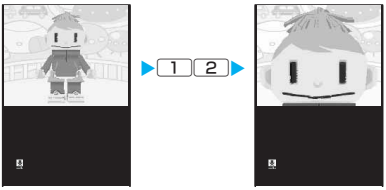
▶(メール)[全体]▶



▶(4)▶

＜例：パーツアクション「顔アップ」を選択する場合＞

▶(メール)[パーツ]▶



▶(1)(2)▶

■音声に合わせてキャラ電の口の動きに変化を付ける場合



キャラ電によっては、送話口からの音声に合わせてキャラ電も一緒に話しているような口の動きを与えることができるものもあります。
機能メニューやダイヤルボタンを押してアクションの再生が行われた場合は、送話口からの音声よりも選択したアクションの動きが優先されます。

キャラ電一覧画面の機能メニュー

キャラ電発信	**▶電話番号を入力▶(通話)または(メール)** 反転表示したキャラ電を代替画像としてテレビ電話をかけます。 キャラ電発信画面で(十)を押すと、着信履歴、リダイヤル、電話帳検索から電話番号を検索できます。
代替画像設定	反転表示したキャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。
キャラ電撮影	「キャラ電を静止画／動画として保存する」→P.360
タイトル編集	**▶タイトルを編集** 反転表示したキャラ電のタイトルを編集します。 全角文字で18文字、半角文字で36文字まで入力できます。
キャラ電情報	「キャラ電情報について」→P.360
保存容量確認	キャラ電の保存データ容量と空きデータ容量を確認します。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.149
画像表示設定	
・等倍表示	実際のサイズで表示します。
・画面サイズで表示 （お買い上げ時）	画面のサイズに拡大して表示します。
タイトル初期化	変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。
削除	「データを削除する」→P.377

おしらせ

＜保存容量確認＞
◆表示される容量はおおよその目安です。

キャラ電画面の機能メニュー

キャラ電発信	**▶電話番号を入力▶(通話)または(メール)** 表示しているキャラ電を代替画像としてテレビ電話をかけます。 キャラ電発信画面で(十)を押すと、着信履歴、リダイヤル、電話帳検索から電話番号を検索できます。
代替画像設定	表示しているキャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。
キャラ電撮影	「キャラ電を静止画／動画として保存する」→P.360
キャラ電切替	**▶キャラ電を選択** 表示するキャラ電を切り替えます。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.149
アクション一覧	アクション一覧を表示します。
アクション切替	「アクションモードを切り替える場合」→P.359
キャラ電情報	「キャラ電情報について」→P.360
画像表示設定	
・等倍表示	実際のサイズで表示します。
・画面サイズで表示 （お買い上げ時）	画面のサイズに拡大して表示します。

● キャラ電情報について

以下の情報が確認できます。

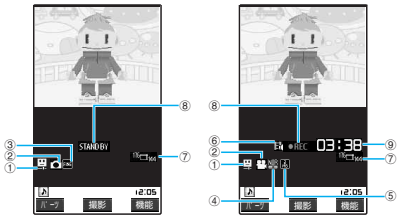
初期タイトル	オリジナルタイトル名を表示
ファイル名	ファイル名を表示
ファイル制限	「あり」固定表示
撮影後ファイル制限	撮影後ファイル制限の「あり／なし」を表示
表示サイズ	ファイルの表示サイズ（横×縦ドット）を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示
取得元	ファイルの取得元を表示 お買い上げ時に登録されているキャラ電のときは空白になります。
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日時：分）を表示
microSDへの移動	「不可」固定表示
代替画像設定	代替画像の設定先を表示 設定されていないときは「設定なし」の表示になります。

おしらせ

◆「撮影後ファイル制限」とは、キャラ電撮影した静止画、動画のメール添付やmicroSDメモリーカードへのコピー、編集などを規制するかしないかを表したものです。

キャラ電を静止画／動画として保存する〈キャラ電撮影〉

■ キャラ電撮影画面の見かた



静止画撮影の場合　動画撮影の場合

① 現在選択されているアクションモードを示します。

- : 全体アクション
- : パーツアクション

② 撮影モードを示します。

- : 静止画撮影
- : 動画撮影

③「画像保存設定」の設定を示します。

- NOR : ノーマル
- FINE : ファイン
- S FINE : スーパーファイン

④「動画保存設定」の設定を示します。

- NOR : 標準
- : 画質優先
- : 時間優先
- : 動き優先

⑤「ファイルサイズ設定」の設定を示します。

- 500KB : 500KB以下
- 2MB : 2MB以下

⑥「撮影種別設定」の設定を示します。

- : 映像＋音声
- : 映像のみ

⑦「画像サイズ選択」に設定しているサイズが表示されます。

- 176 144 : QCIF（176×144）
- 117 96 : 縮小サイズ（117×96）

⑧ 撮影の状態を示します。

- STAND BY : スタンバイ
- ●REC : 撮影中

⑨ 残り撮影時間が「分：秒」で表示されます（撮影前は非表示）。

● 静止画を撮影する

1「キャラ電画面」(P.358) ▶ i [機能] ▶「キャラ電撮影」

「キャラ電撮影画面（静止画）」が表示されます。



キャラ電撮影画面（静止画）

機能メニュー ➡P.361

2 アクションを操作 ▶ ●

アクションの操作について→P.358

■ パーツアクションにする場合

▶ ✉ [パーツ]

■ 撮影した静止画を添付／挿入した i モードメールを作成する場合

▶ ✉ [MAIL] ▶「画像添付」または「画像挿入」を選択

■ 撮影し直す場合

▶ CLR

3 ●

撮影した静止画は、マイピクチャのカメラフォルダに保存されます。

おしらせ

◆以下の場合、撮影確認音は鳴りません。

- 着信音量の「電話」が「消去」のとき
- マナーモードなど電話の着信音量が「消去」のとき

キャラ電撮影画面の機能メニュー

キャラ電切替	**▶キャラ電を選択** 撮影するキャラ電を切り替えます。
代替画像設定	表示しているキャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。
アクション一覧	アクション一覧を表示します。
アクション切替	アクションモードを切り替えます。 →P.359
画像表示設定	画像の表示方法を設定します。
・**等倍表示**	実際のサイズで表示します。
・**画面サイズで表示** （お買い上げ時）	画面のサイズに拡大して表示します。
ムービーモード※1	フォトモード／ムービーモードを切り替えます。
画像サイズ選択※2	撮影する画像サイズを設定します。
・**QCIF（176×144）** （お買い上げ時）	横176×縦144ドット（QCIF）サイズで撮影します。
・**縮小サイズ（117×96）**	横117×縦96ドットサイズで撮影します。
撮影種別設定※3	動画を撮影する方法を設定します。
・**映像＋音声** （お買い上げ時）	映像と音声両方の動画を撮影します。
・**映像のみ**	映像のみの動画を撮影します。
動画保存設定※3	
・**標準** （お買い上げ時）	標準の画質、撮影時間で撮影します。
・**画質優先**	よりよい画質で撮影したいときに選択します。撮影時間は標準より短くなります。
・**時間優先**	撮影する時間を長くしたいときに選択します。画質は標準より劣ります。
・**動き優先**	よりスムーズな動きで撮影したいときに選択します。
画像保存設定※2	静止画を撮影するときの画質について設定します。
ファイルサイズ設定※3	
・**500KB以下**	500Kバイトまで撮影することができます。
・**2MB以下** （お買い上げ時）	2Mバイトまで撮影することができます。

※1：ムービーモードのときは「フォトモード」になります。お買い上げ時はフォトモードです。
※2：ムービーモードでは設定できません。
※3：フォトモードでは設定できません。

おしらせ

＜キャラ電切替＞
◆キャラ電を切り替えると、アクションモードは全体アクションモードになります。

● 動画を撮影する

1「キャラ電撮影画面（静止画）」（P.360）▶(i)［機能］▶「ムービーモード」

「キャラ電撮影画面（動画）」が表示されます。



キャラ電撮影画面（動画）

機能メニュー ➡P.361

2 ●▶アクションを操作▶●

アクションの操作について→P.358

■ **パーツアクションにする場合**
▶✉［パーツ］

■ **撮影した動画を添付したiモードメールを作成する場合**
▶✉［MAIL］

■ **撮影した動画を確認する場合**
▶(i)［機能］▶「再生確認」

■ **撮影し直す場合**
▶CLR

3 ●

撮影した動画は、iモーションのカメラフォルダに保存されます。

おしらせ

◆画像サイズは、QCIF（176×144）のみです。画像サイズは変更できません。
◆以下の場合、撮影確認音は鳴りません。
・着信音量の「電話」が「消去」のとき
・マナーモードなど電話の着信音量が「消去」のとき
◆平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときは、「イヤホン接続時マイク切替」の設定に従って音声が録音されます。
◆キャラ電の動画撮影中にアクション操作をすると、ボタン操作音がマイクから録音される場合があります。

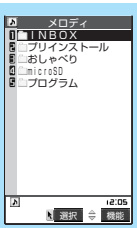
〈メロディ〉 MENU16

メロディを再生する

内蔵メロディや効果音、サイトなどからダウンロードしたメロディは、データBOXのメロディで再生できます。

1 MENU▶「DATA BOX」▶「メロディ」

「フォルダー覧画面」が表示されます。



フォルダー覧画面

機能メニュー ➡P.375

次ページにつづく

2 フォルダを選択

「メロディー覧画面」が表示されます。
メロディー覧画面の見かたについて→P.362



メロディー覧画面

機能メニュー ➡P.362

3 メロディを選択

「メロディ画面」が表示され、メロディの再生がはじまります。
再生中の操作について
→P.362



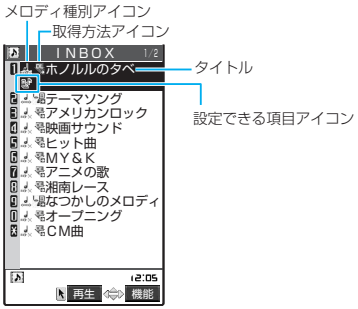
メロディ画面

機能メニュー ➡P.363

おしらせ

◆再生中の音量は、着信音量の「電話」で設定した音量になります。「消去」または「ステップ」に設定されているときは「レベル2」で再生します。
◆3Dサウンド対応のメロディでは、臨場感のあるメロディ再生が楽しめます。→P.128

メロディ一覧の見かた



■ メロディ種別アイコン

	MFi／SMFのメロディ※1※2

※1：ファイル制限が設定されているメロディ、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディのアイコンには「 」が付きます。

※2：メロディにはあらかじめ再生部分が指定されていることがあります。そのため着信音などに設定したときは指定部分のみが再生されます。データBOXのメロディで再生を行うと、すべてのメロディを再生できます。また、これらのメロディもファイル名やタイトルの変更を行うことができます。

■ 取得方法アイコン

アイコンなし	お買い上げ時に登録されているメロディ
	サイトなどから取得したメロディ
	赤外線通信やｉC通信、microSDメモリーカード、バーコードリーダー、パソコンなどから取得したメロディ

■ 設定できる項目アイコン

	ｉモードメールに添付できるメロディ（2Mバイト以下）
	着信音に設定できるメロディ
	赤外線送信とｉC送信が可能なメロディ
	microSDメモリーカードにコピー可能なメロディ

■ タイトル、ファイル名について

サイトなどから取得したメロディにはオリジナルのタイトルが付きます。
タイトルはFOMA端末のメロディー覧画面に表示される名前です。
ファイル名はパソコンなどに送ったときに表示されるメロディデータの名前です。
ファイル名に不正な文字があるときのファイル名は「melodyxxx」（xxx：3桁の数字）になります。
ファイル名の末尾3桁の数字は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号として付けられます。

メロディ再生中の操作について

メロディを再生中には以下の操作を行うことができます。

操作ボタン	動　作
	前または次の曲を再生
（▲）、（▼[MEMO/CHECK]）	音量調節※1※2
0 ～ 9、＊、＃、、、	再生の停止
CLR	終了

※1：音量を調節した後、● を押すか、約2秒間待つとメロディ画面に戻ります。
※2：再生中に音量を変更しても、メロディを終了すると「着信音量」で設定されている音量に戻ります。

メロディー覧画面の機能メニュー

メロディー覧画面の機能メニューはメロディが保存されているフォルダによって変わります。

- INBOX、ユーザ作成フォルダ、microSDのメロディー覧画面の機能メニュー→P.363
- プリインストール、おしゃべりフォルダのメロディー覧画面の機能メニュー→P.363

■ INBOX、ユーザ作成フォルダ、microSDのメロディー一覧画面の機能メニュー

タイトル編集	**▶タイトルを編集** 反転表示したメロディのタイトルを編集します。 全角文字で25文字、半角文字で50文字まで入力できます。
ファイル名編集※1	**▶ファイル名を編集** 反転表示したメロディのファイル名を編集します。 半角の英字、数字、記号（"-"、"_"）で36文字まで入力できます（"-"、"_"以外の記号を入力することはできません）。
メロディ再生	反転表示したメロディを再生します（メロディ画面を表示します）。
着信音設定※1	反転表示したメロディを着信音に設定します。→P.126
ファイル制限※1	
・**なし**	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
・**あり**	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
デスクトップ貼付※1	「デスクトップアイコンを利用する」→P.149
ｉモードメール作成※2	反転表示したメロディを添付したｉモードメールを作成します。
ｉC送信※1	「データを1件ずつ転送する」→P.381
赤外線送信※1	
microSDへコピー※1	「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.376
本体へコピー※3	「microSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピーする」→P.377
メロディ情報	「メロディ情報について」→P.364
保存容量確認	メロディの保存データ容量と空きデータ容量を確認します。
コピー※3	「microSDメモリーカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.377
タイトル初期化	変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。
ソート※1	指定した条件に従ってメロディを並び替えます。
フォルダ移動	「データをほかのフォルダに移動する」→P.376
削除	「データを削除する」→P.377

※1：INBOX、ユーザ作成フォルダに保存されているメロディのときのみ表示されます。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※3：microSDメモリーカードに保存されているメロディのときのみ表示されます。

おしらせ

＜ファイル名編集＞
◆ファイル制限が「あり」に設定されているメロディは、ファイル名編集できません。ただし、赤外線通信やｉC通信、OBEXで受信したメロディはファイル名編集できます。

＜ｉモードメール作成＞
◆microSDメモリーカードに保存されている2Mバイトを超えるメロディは添付することができません。

＜メロディ情報＞
◆メロディ情報の「ファイル制限」が「なし」になっていても、ｉモードメールに添付できない場合があります。

＜保存容量確認＞
◆表示される容量はおおよその目安です。

＜ソート＞
◆「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。また、同じ取得元アイコンのメロディは、「ファイル取得元順」を選択する前の順番でソートされます。
①ダウンロードしたり、ｉアプリから取得したメロディ
②赤外線通信などから取得したメロディ

■ プリインストール、おしゃべりフォルダのメロディー一覧画面の機能メニュー

メロディ再生	反転表示したメロディを再生します。
着信音設定	反転表示したメロディを着信音に設定します。→P.126

メロディ画面の機能メニュー

着信音設定※1	再生しているメロディを着信音に設定します。→P.126
連続再生設定※2	同じフォルダ内のメロディを続けて再生します。
デスクトップ貼付※3	「デスクトップアイコンを利用する」→P.149
ｉモードメール作成※4※5	再生しているメロディを添付したｉモードメールを作成します。
microSDへコピー※3	**▶コピー先のフォルダを選択** メロディをmicroSDメモリーカードにコピーします。
本体へコピー※6	メロディをFOMA端末のINBOXフォルダにコピーします。
メロディ情報※4	「メロディ情報について」→P.364

※1：FOMA端末本体のフォルダに保存されているメロディのときのみ表示されます。
※2：INBOX、ユーザ作成フォルダ、プリインストールフォルダに保存されているメロディのときに表示されます。
※3：INBOX、ユーザ作成フォルダに保存されているメロディのときに表示されます。
※4：INBOX、ユーザ作成フォルダ、microSDメモリーカードに保存されているメロディのときに表示されます。
※5：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※6：microSDメモリーカードに保存されているメロディのときのみ表示されます。

● メロディ情報について

以下の情報が確認できます。

初期タイトル	オリジナルタイトル名を表示
ファイル名	ファイル名を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示
ファイル制限	ファイル制限の「あり／なし」を表示
ファイル種別	メロディのファイル種別「MFi／SMF」を表示
取得元	ファイルの取得元を表示
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日時：分）を表示
microSDへの移動※1	microSDメモリーカードへのコピーの「可／不可」を表示
本体への移動※2	FOMA端末本体へのコピーの「可／不可」を表示
バイブレータ連動	バイブレータ連動の「あり／なし」を表示
着信イルミネーション連動	着信イルミネーション連動の「あり／なし」を表示
着信音設定※1	着信音設定の設定先を表示 設定されていないときは「設定なし」の表示になります。

※1：FOMA端末本体に保存されているメロディのときのみ表示されます。
※2：microSDメモリーカードに保存されているメロディのときのみ表示されます。

● メロディを好きな順に再生する〈プログラム再生〉

お好きな曲を10曲まで選んで登録しておき、連続して再生できます。

1「フォルダ一覧画面」（P.361）▶「プログラム」を反転表示して[i]［機能］▶「プログラム編集」▶登録する番号を選択▶フォルダを選択▶メロディを選択▶操作を繰り返して登録

■ 登録したメロディを解除する場合
▶解除したいメロディを選択▶フォルダ選択画面で「メロディ解除」



2 [メール]［完了］
メロディのフォルダ一覧画面が表示されます。
プログラムフォルダを選択するとプログラム再生がはじまり、登録したメロディが繰り返し再生されます。

おしらせ
◆プログラムに登録されているメロディのタイトルおよびファイル名を変更または、データを削除すると、プログラム再生が解除されます。

〈きせかえツール〉

きせかえツールを利用する

サイトからダウンロードしたきせかえツールのパッケージの設定項目を表示して確認できます。また、お買い上げ時に登録されているパッケージも確認できます。
- サイトからのダウンロードについて→P.225
- きせかえツールのパッケージの設定について→P.144

1 [MENU]▶「DATA BOX」▶「きせかえツール」
「パッケージ一覧画面」が表示されます。
パッケージ一覧画面の見かたについて→P.364



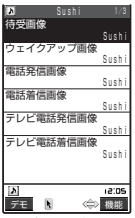
パッケージ一覧画面

機能メニュー➡P.365

2 パッケージを選択
「パッケージ画面」が表示されます。

■ 設定できる項目の内容を確認する場合
▶確認する項目を反転表示して[mail]［デモ］

■ パッケージを設定する場合
▶[i]［機能］▶「一括設定」

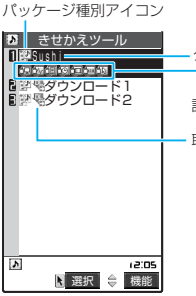


パッケージ画面

■ 残りすべてをダウンロードするかどうかのメッセージが表示された場合
データの取得が中断されたなどの理由により一部のデータしか取得できなかったパッケージを開こうとしています。残りのデータを追加でダウンロードする必要があります。→P.225

おしらせ
◆着信音など、音に関する項目を確認する場合の再生中の音量は、「着信音量」で設定した音量になります。「消去」に設定されている場合は鳴りません。

パッケージ一覧の見かた



■ パッケージ種別アイコン

アイコン	説明
	すべてのデータが取得されているパッケージ
	データの取得が中断されたなどの理由により一部のデータしか取得できなかったパッケージ。 残りすべてのデータを追加でダウンロードすることで、きせかえツールとして設定できるようになります。
	FOMAカード動作制限に該当しているパッケージ

■ 取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	お買い上げ時に登録されているデータ
	サイトからダウンロードして取得したデータ

■ 設定できる項目アイコン

アイコン	説明
	待受画面やウェイクアップ表示に設定できるデータ
	電話発信画面など、待受画面、ウェイクアップ表示以外の画面に設定できるデータ
	着信音や時刻アラーム音に設定できるデータ
	メニューアイコンに設定できるデータ
	時計表示に設定できるデータ
	配色パターンに設定できるデータ
	電池アイコンなど、アイコンに設定できるデータ
	ニューロポインターのアイコンに設定できるデータ

■ タイトル、ファイル名について

サイトなどからダウンロードしたパッケージにはオリジナルのタイトルが付きます。
タイトルはパッケージ一覧画面に表示される名前です。

パッケージ一覧画面の機能メニュー

一括設定	「きせかえツールのパッケージを設定する」→P.144
タイトル編集	▶**タイトルを編集** 反転表示したパッケージのタイトルを編集します。 全角文字で10文字、半角文字で20文字まで入力できます。
きせかえツール情報	「パッケージ情報について」→P.365
タイトル初期化	変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。
保存容量確認	きせかえツールの保存データ容量と空きデータ容量を確認します。
ソート	指定した条件に従ってパッケージを並び替えます。
削除	「データを削除する」→P.377

● パッケージ情報について

以下の情報が確認できます。

初期タイトル	オリジナルタイトル名を表示
ファイル名	ファイル名を表示
ファイル制限	「あり」固定表示
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示
取得元	ファイルの取得元を表示 お買い上げ時に登録されているパッケージのときは空白になります。
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日時：分）を表示
microSDへの移動	「不可」固定表示

microSDメモリーカードについて

N904iでは市販の2Gバイトまでのmicro SDメモリーカードに対応しています（2007年5月現在）。micro SDメモリーカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicro SDメモリーカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。

- ｉモードから
「みんなNらんど」への接続のしかた→P.213
- パソコンから
http://www.n-keitai.com/

なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

取扱い上のご注意

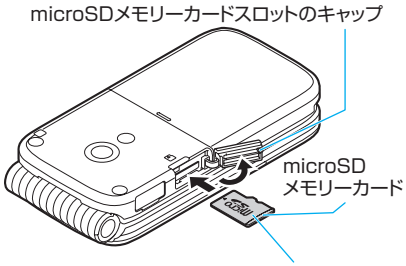
※フォーマットは必ず本FOMA端末で行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたmicro SDメモリーカードは、使用できないことがあります。→P.373

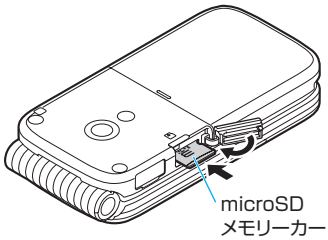
- micro SDメモリーカードは、FOMA端末の電源を切った状態で取り付けや取り外しを行ってください。
- micro SDメモリーカードにラベルやシールを貼らないでください。
- micro SDメモリーカードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

microSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

● 取り付けかた

FOMA端末の電源を切った状態で取り付けてください。





❶ microSDメモリーカードスロットのキャップを開ける

❷ microSDメモリーカードスロットにmicroSDメモリーカードを差し込み、ロックされるまで押し込む

microSDメモリーカードの印刷面を上にしてゆっくりとまっすぐに差し込んでください。
完全に奥まで押し込むとロックされます。

❸ microSDメモリーカードスロットのキャップを閉じる

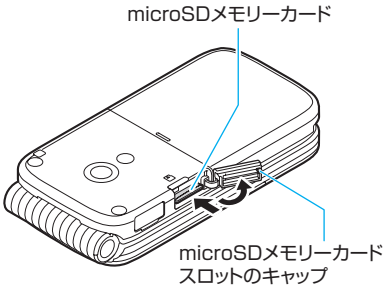
microSDメモリーカードを取り付け後、電源を入れると、ディスプレイに「 」が表示されます。

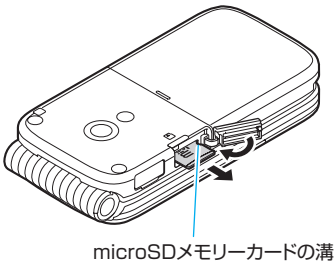
おしらせ

◆microSDメモリーカードに不具合のある場合や、正常にフォーマットできなかった場合には「 」が表示されます。

● 取り外しかた

FOMA端末の電源を切った状態で取り外してください。





❶ microSDメモリーカードスロットのキャップを開ける

❷ microSDメモリーカードを軽く押し込む

microSDメモリーカードを押し込んで手を放すと、microSDメモリーカードが少し出てきます。このとき、microSDメモリーカードが飛び出すこともありますのでご注意ください。

❸ microSDメモリーカードをゆっくりと引き抜いて取り外す

microSDメモリーカードの溝の部分を持ち、まっすぐにゆっくりと抜いてください。

❹ microSDメモリーカードスロットのキャップを閉じる

おしらせ

◆FOMA端末の電源を入れた状態で取り付けたり取り外したりしないでください。microSDメモリーカードに損傷を与えたり、データが壊れることがあります。
◆microSDメモリーカードを取り付けたり取り外したりするときは、microSDメモリーカードが飛び出すことがありますので注意してください。
◆microSDメモリーカードを取り外した後は、必ず付属の保護ケースに入れて保管してください。ほかの保護ケースで保管すると、microSDメモリーカードが使用できなくなる場合があります。
◆microSDメモリーカードの向きを確認してまっすぐに出し入れしてください（斜めに差し込むとカードが破損する恐れがあります）。
◆microSDメモリーカードを取り付けた後、最初に読み込みや書き込みをする場合は時間がかかることがあります。

microSDメモリーカードのフォルダ構成

FOMA端末からmicroSDメモリーカードにデータをコピーすると、以下のようなフォルダが作成され、データが対応するフォルダに保存されます。また、配下のフォルダ名およびファイル名も以下のように自動的に付与されます。

● パソコンなどからmicroSDメモリーカードにデータを書き込む場合も、以下のようなフォルダ構成、ファイル名にする必要があります。

- microSDメモリーカード
  - DCIM ……FOMA端末の「マイピクチャ」で「ピクチャ」と表示されます。
    - *aaa*NECDT※1
      - NEC_*bbbb*※2.*hhh*※9 ……静止画ファイル（JPEG、GIFファイル）
  - SD_VIDEO ……FOMA端末の「ｉモーション」で「SDビデオ」と表示されます。動画やｉモーション（音楽データ含む）が保存されているフォルダです。
    - PRL*ccc*※3
      - MOL*ccc*※3_*iii*※10 ……動画ファイル（3GP、SDV、MP4、ASFファイル）
  - SD_PIM ……電話帳、スケジュール、メールなどPIMデータが保存されているフォルダ
    - PIM*ddddd*※4.VCS ……スケジュール、To Doリストファイル（vCalendarファイル）
    - PIM*ddddd*※4.VCF ……電話帳ファイル（vCardファイル）
    - PIM*ddddd*※4.VMG ……メールファイル（vMessageファイル）
    - PIM*ddddd*※4.VNT ……テキストメモファイル（vNoteファイル）
    - PIM*ddddd*※4.VBM ……ブックマークファイル（vBookmarkファイル）
  - PRIVATE
    - DOCOMO
      - STILL ……FOMA端末の「マイピクチャ」で「イメージボックス」と表示されます。
        - SUD*eee*※5
          - STIL*ffff*※6_*hhh*※9 ……アニメーションファイル（GIFファイル）、画像ファイル（JPEGファイル）
        - STIL*ffff*※6_*hhh*※9 ……アニメーションファイル（GIFファイル）、画像ファイル（JPEGファイル）
      - MMFILE ……FOMA端末の「ｉモーション」で「マルチメディア」と表示されます。
        - MMF*ffff*※6_*iii*※10 ……動画ファイル（3GP、SDV、MP4、ASFファイル）
        - MUD*eee*※5
          - MMF*ffff*※6_*iii*※10 ……動画ファイル（3GP、SDV、MP4、ASFファイル）
        - WM ……WMAデータが保存されているフォルダ
        - WM_SYSTEM ……WMAデータのライセンスキーが保存されているフォルダ
      - LCSCLIENT ……現在地通知先ファイルが保存されているフォルダ
        - LSC*eee*※5
          - LSCDC*eee*※5.LSC ……現在地通知先ファイル
        - LSCDC*eee*※5.LSC ……現在地通知先ファイル
      - DECOIMG ……デコメ絵文字ファイルが保存されているフォルダ
        - DUD*eee*※5
          - DIMG*ffff*※6_*hhh*※9 ……デコメ絵文字ファイル（JPEG、GIFファイル）
        - DIMG*ffff*※6_*hhh*※9 ……デコメ絵文字ファイル（JPEG、GIFファイル）
      - OTHER ……フルブラウザからダウンロードした画像ファイルや、ｉモードメールに添付されたFOMA端末のデータBOXで扱えないファイルが保存されているフォルダです。FOMA端末では「SDその他」と表示されます。
        - OUD*eee*※5 ……フルブラウザからダウンロードした画像ファイルはこのフォルダに保存されます。
          - OTHER*eee*※5_*kkk*※11 ……画像ファイル（PNG、BMPファイル）
          - OTHER*eee*※5_*mmm*※12 ……その他のファイル
        - OTHER*eee*※5_*kkk*※11 ……画像ファイル（PNG、BMPファイル）
        - OTHER*eee*※5_*mmm*※12 ……その他のファイル
      - RINGER ……メロディファイルが保存されているフォルダ
        - RUD*eee*※5
          - RING*ffff*※8_*ggg*※7 ……メロディファイル（SMF、MFiファイル）
        - RING*ffff*※8_*ggg*※7 ……メロディファイル（SMF、MFiファイル）
      - TORUCA ……トルカが保存されているフォルダ
        - TRC*eee*※5
          - TORUC*eee*※5.TRC ……トルカファイル
        - TORUC*eee*※5.TRC ……トルカファイル
      - DOCUMENT ……PDFデータが保存されているフォルダ
        - PUD*eee*※5
          - PDFDC*eee*※5.PDF ……PDFデータ
          - PDFDC*eee*※5.$DF ……PDFデータ
          - PDFDC*eee*※5.DDF ……PDFデータ定義ファイル（DDFファイル）※8
    - NEC
      - DOCUMENT ……ドキュメントファイルが保存されているフォルダ
        - DOC*eee*※5
          - DOCDC*eee*※5.DOC ……ドキュメントファイル（Wordファイル）
          - DOCDC*eee*※5.XLS ……ドキュメントファイル（Excelファイル）
          - DOCDC*eee*※5.PPT ……ドキュメントファイル（PowerPointファイル）
  - SD_BIND ……移動可能なｉモーションや着うたフル®、ｉアプリで使用するデータが保存されているフォルダ
  - SD_AUDIO ……SD-Audioデータが保存されているフォルダ

次ページにつづく

※1：「*aaa*」は100～999の3桁の半角数字になります。「NECDT」の部分は任意の半角英数字にすることもできます。
※2：「*bbbb*」は0001～9999の4桁の半角数字になります。「NEC_」の部分は任意の半角英数字にすることもできます。
※3：「*ccc*」は、0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いた、001～FFFの16進数の文字になります。
※4：「*ddddd*」は、00001～65535の5桁の半角数字になります。
※5：「*eee*」は、001～999の3桁の半角数字になります。
※6：「*ffff*」は、0001～9999の4桁の半角数字になります。
※7：「*ggg*」は、ファイル拡張子です。MLDまたはMIDとなります。
※8：パソコンなどで表示した場合のみ表示されます。
※9：「*hhh*」は、ファイル拡張子です。JPGまたはGIFとなります。
※10：「*iii*」は、ファイル拡張子です。3GPまたはSDV、MP4、ASFとなります。
※11：「*kkk*」は、ファイル拡張子です。PNGまたはBMPとなります。
※12：「*mmm*」は、ファイル拡張子です。

おしらせ

◆SD_PIMフォルダに複数のデータをコピーした場合は、タイトル名に年月日時分（yyyy/mm/dd hh:mm）が自動的に付与されます。
◆パソコンなどからMMFILEフォルダに映像付きの動画を保存することはできますが、FOMA端末で再生できません。
◆お使いのパソコンによってはフォルダ名、ファイル名が小文字で表示される場合があります。
◆パソコンなどで編集したファイルをmicroSDメモリーカードに保存するとき、P.367のフォルダ名、ファイル名とは異なる文字を使用すると、FOMA N904iでは正しく表示、再生できない場合があります。
◆microSDメモリーカードのフォーマットなどを行い、SDVIDEO.DATファイル、MMFILE.DATファイルまたはDCIM.DATファイルが削除された場合、メモリーカード内の保存先フォルダの設定は解除されます。その際は「画像保存先選択」（P.193）または「動画保存先選択」（P.198）で設定し直してください。FOMA端末の電源を切ったり、microSDメモリーカードの取り外し／取り付けでは解除されません。
◆microSDメモリーカードのフォルダをパソコンなどで削除したり、移動したりしないでください。FOMA N904iでmicroSDメモリーカードが読めなくなる場合があります。
◆FOMA N904iに対応していないデータを microSDメモリーカードに保存しても、FOMA N904iでは認識できません。
◆ほかの機器からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、ほかの機器で表示、再生できない場合があります。
◆microSDリーダー／ライターおよびPCカードアダプタについては、本FOMA端末で対応しているmicroSDメモリーカードとの動作を各メーカーにご確認の上お買い求めください。
◆FOMA N904i以外の機器でフォーマットしたmicroSDメモリーカードを使用すると、正常に動作しない場合があります。

● microSDメモリーカードに保存できる件数について

microSDメモリーカードに保存できる件数は、ご使用になるmicroSDメモリーカードのメモリ容量によって変わります。1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数および追加できるフォルダの最大件数は以下のとおりです。フォルダを追加して、コピーする場所を変えたりすることによって、より多くのファイルを保存できます。ただし、ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。

フォルダ名	フォルダ最大件数	1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数
DCIM	900件	9,999件
SD_VIDEO	4,095件	4,095件
SD_PIM	1件	65,535件
STILL	999件	9,999件
MMFILE	999件	9,999件
LCSCLIENT	999件	999件
DECOIMG	999件	9,999件
OTHER	999件	999件
RINGER	999件	9,999件
TORUCA	999件	999件
DOCUMENT	999件	999件

microSDメモリーカードの使用データ容量と空きデータ容量は「microSDメモリーカードの使用状況を確認する」（P.373）で確認できますが、表示されるメモリ容量は、ご使用のmicroSDメモリーカードに記載されているメモリ容量より少なくなります。

- microSDメモリーカードの空きデータ容量が不足している場合、電話帳、マイプロフィール、スケジュール、To Doリスト、テキストメモ、ブックマークをコピーしようとすると、容量不足でコピーできないというメッセージが表示されます。また、メール、静止画や画像、動画やiモーションのときは機能メニューの「microSDへコピー」「microSDへ移動」がグレー表示となります。このようなときは、ほかのmicroSDメモリーカードに交換するか、不要なデータを削除してからコピーし直してください。
- 音楽データをFOMA端末からmicroSDメモリーカード（SD-AUDIOフォルダ、WMフォルダ）にコピーすることはできません。
- コピー先／保存先のフォルダ内のファイルが最大件数になっているときは以下のようになります。
  - SD-PIM以外にコピーする場合は、自動的に新しいフォルダが作成され、そのフォルダに保存されます。ただし、カメラで静止画を撮影後、直接microSDメモリーカードに保存する場合は、自動的にフォルダ作成されません。
  - SD-PIMにコピーする場合、件数がいっぱいというメッセージが表示され、microSDメモリーカードにコピーできません。
- microSDメモリーカード内の容量がいっぱいの場合、静止画や画像、動画やiモーションのフォルダ追加やタイトル編集などはできません。不要なデータを削除してから操作を行ってください。

FOMA端末とmicroSDメモリーカード間でコピーできるデータについて

FOMA端末とmicroSDメモリーカード間でコピーできるデータは、以下のとおりです。

■ 電話帳、メールなどのPIMデータの場合

- FOMA端末とmicroSDメモリーカード間でPIMデータをコピーするには→P.369

データの種類	詳細
電話帳	名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、メモ、住所、誕生日、静止画、位置情報、メモリ番号※1、シークレット属性※2※3、グループ番号※3、グループ名※3、プッシュトーク電話番号※4、プッシュトークグループ番号※4、プッシュトークグループ名※4
スケジュール	開始日時、終了日時、要約、内容、シークレット属性※2、分類※5、アラーム設定、繰り返し設定
To Doリスト	内容、分類※6、完了日、期限、状態、優先順位、アラーム設定
テキストメモ	作成日時、最終更新日時、分類、内容
受信メール※7、送信メール※7、保存メール、SMS	未読／既読、メッセージタイプ、メッセージボックス、差出人、宛先、タイトル、受信／送信日時、本文、添付
ブックマーク※7※8	タイトル、URL

※1：「追加1件コピー」の場合、FOMA端末に同じメモリ番号が登録されているときなどはコピーできません。
※2：シークレット属性は、シークレットデータとして登録されているかどうかを示すものです。
※3：「全コピー」の場合にコピーできます。
※4：「選択コピー」「全コピー」の場合にコピーできます。
※5：分類は、スケジュールの内容で設定したアイコン情報です。
※6：分類は、To Doリストの用件で設定したカテゴリーです。
※7：受信メール、送信メール、ブックマークの全コピーでは、フォルダ（フォルダ名）の転送が可能です。
※8：microSDメモリーカードからFOMA端末へコピーした場合、iモードのブックマークは、「iモードメニュー」の「Bookmark」フォルダに登録されます。フルブラウザのブックマークは、「フルブラウザ」の「Bookmark」フォルダに登録されます。

■ データBOX内のデータの場合

- FOMA端末（データBOX）とmicroSDメモリーカード間でデータをコピーするには→P.376

データの種類	詳細
静止画	INBOXフォルダ、カメラフォルダ、デコメピクチャフォルダ、デコメ絵文字フォルダ、おまかせデコメフォルダ、microSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のJPEGおよびGIF形式のデータ
動画	INBOXフォルダ、カメラフォルダ、microSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内にあるMP4形式のデータ
PDFデータ	INBOXフォルダ、microSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のPDF形式のデータ
メロディ	INBOXフォルダ、microSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内にあるMFi／SMF形式のメロディ

■ その他のデータ

- FOMA端末とmicroSDメモリーカード間でトルカをコピーするには→P.310
- FOMA端末とmicroSDメモリーカード間で現在地通知先のデータをコピーするには→P.323

データの種類	詳細
トルカ	トルカフォルダ、microSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のトルカ
現在地通知先	現在地通知先名称、通知先ID、電話番号、自動通知設定

おしらせ

◆ユーザアイコンを設定したスケジュールをコピーした場合、「分類」の情報は転送されません。
◆FOMA 端末外への出力が禁止されているデータはコピーできません。ただし本FOMA端末でファイル制限を「あり」に設定したデータはコピーできます。

〈SD-PIM〉

microSDメモリーカードを利用する

FOMA端末に登録している電話帳、スケジュール、To Doリスト、テキストメモ、メール、ブックマークをmicroSDメモリーカードに保存できます。保存したデータは「SD-PIM」で表示したり、FOMA端末にコピーできます。

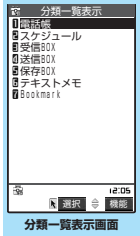
- microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。→P.365

microSDメモリーカードのデータをプレビューする

microSDメモリーカードに保存したデータを表示して、確認できます。

1 (MENU)▶「LIFE KIT」▶「SD-PIM」

「分類一覧表示画面」が表示されます。



分類一覧表示画面

機能メニュー ➡P.370

次ページにつづく

2 項目を選択

「ファイル一覧画面」が表示されます。

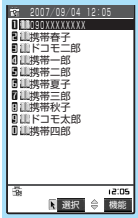


ファイル一覧画面

機能メニュー ➡P.370

3 ファイルを選択

「データ一覧画面」が表示されます。

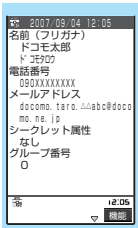


データ一覧画面

機能メニュー ➡P.371

4 データを選択

「データ詳細画面」が表示されます。



データ詳細画面

機能メニュー ➡P.371

おしらせ

- ◆SD-PIMの起動中やデータの詳細表示中は、ほかの機能を起動することはできません。
- ◆デコメールは、デコレーションが設定されていない状態で表示されます。
- ◆ｉモードブラウザ画面で登録したBookmarkには「」のアイコンが表示され、フルブラウザ画面で登録したBookmarkには「」のアイコンが表示されます。

分類一覧表示画面の機能メニュー

microSD情報表示	「microSDメモリーカードの使用状況を確認する」→P.373
本体からコピー※	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** 反転表示した項目のデータをmicroSDメモリーカードに全コピーします。
microSDフォーマット	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** microSDメモリーカードをフォーマットします。
microSDチェックディスク	microSDメモリーカードをチェックします。 チェックすることによってmicroSDメモリーカードの不具合を修復できる場合もあります。

※：項目から「スケジュール」を選択した場合は、「スケジュール／To Doリスト／全て」の中から選択できます。「Bookmark」を選択した場合は、「ｉモードブラウザ／フルブラウザ／全て」の中から選択できます。

おしらせ

＜microSDチェックディスク＞

- ◆microSDチェックディスク中にmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因になります。
- ◆フォーマットされていないmicroSDメモリーカードや、未対応のメモリーカードはmicroSDチェックディスクできません。
- ◆microSDチェックディスク中は「」が点滅します。
- ◆microSDチェックディスク中に［中止］や を押した場合は、microSDチェックディスクは中止され、「」が表示されます。
- ◆microSDチェックディスクを中断した場合、修復中のデータが残る場合があります。このような場合、再度チェックディスクを行ってください。
- ◆microSDメモリーカード内のデータ量によっては、microSDチェックディスクに時間がかかる場合があります。
- ◆microSDメモリーカードによっては修復できない場合があります。
- ◆microSDチェックディスクを行うと、microSDに保存されているデータのタイトルはファイル名に変更されます。
  タイトル、ファイル名について→P.344

ファイル一覧画面の機能メニュー

- 上書コピー（上書１件コピー／上書選択コピー／上書全コピー）を行うと、コピー前にあったFOMA端末内の登録データは消去され、選択したmicroSDメモリーカード内のデータにまるごと入れ替わりますのでご注意ください。
  上書コピーを行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。

タイトル編集	**▶タイトルを編集** 反転表示したファイルのタイトルを編集します。 全角文字で15文字、半角文字で31文字まで入力できます。
追加コピー	FOMA端末にデータを追加コピーします。
・追加１件コピー	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** 反転表示した１件のファイル内の全データを追加コピーします。
・追加選択コピー	**▶ で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶端末暗証番号を入力▶「YES」** 選択したファイル内の全データを追加コピーします。
・追加全コピー	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** すべてのファイル内の全データを追加コピーします。

上書コピー※1	FOMA端末にデータを上書きコピーします。
・上書1件コピー	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」▶「YES」※2** 反転表示した1件のファイル内の全データを上書きコピーします。
・上書選択コピー	**▶⊕で□（チェックボックス）を選択▶✉【完了】▶端末暗証番号を入力▶「YES」▶「YES」※2** 選択したファイル内の全データを上書きコピーします。
・上書全コピー	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」▶「YES」※2** すべてのファイル内の全データを上書きコピーします。
本体からコピー※3	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** その項目のデータをFOMA端末から全件コピーします。
microSD情報表示	microSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を確認します。
削除	
・1件削除	反転表示したファイルを削除します。
・選択削除	**▶⊕で□（チェックボックス）を選択▶✉【完了】▶「YES」** 複数のファイルを削除できます。
・全削除	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** その項目に保存されているすべてのファイルを削除します。

※1：スケジュールの場合、To Doリストのデータも対象となります（どちらか一方のデータのみ登録されている場合は、登録されているデータのみ上書きされます）。
※2：電話帳の場合、コピーするファイルが1件しかなければ先頭のデータを自局データとして設定するかどうかの選択画面が表示されます。
※3：項目から「スケジュール」を選択した場合は、「スケジュール／To Doリスト／全て」の中から選択できます。「Bookmark」を選択した場合は、「iモードブラウザ／フルブラウザ／全て」の中から選択できます。

おしらせ

＜削除＞

◆パソコンなどで読み取り専用に設定されている場合、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

データ一覧画面／データ詳細画面の機能メニュー

- 上書全コピーを行うと、コピー前にあったFOMA端末内の登録データは消去され、選択したmicroSDメモリーカード内のデータにまるごと入れ替わりますのでご注意ください。
  上書全コピーを行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。

追加1件コピー	反転表示したデータ、または表示しているデータをFOMA端末に追加コピーします。
追加全コピー※1	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** ファイル内のすべてのデータをFOMA端末に追加コピーします。
上書全コピー※1	**■電話帳の場合** **▶端末暗証番号を入力▶「YES」▶「YES」▶「YES」▶「YES」または「NO」** **■スケジュール※2、受信BOX、送信BOX、保存BOX、テキストメモ、Bookmarkの場合** **▶端末暗証番号を入力▶「YES」▶「YES」** ファイル内のすべてのデータをFOMA端末に上書きコピーします。
microSD情報表示	microSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を確認します。

※1：データ一覧画面のみ表示されます。
※2：To Doリストのデータも対象となります（どちらか一方のデータのみ登録されている場合は、登録されているほうのデータのみ上書きされます）。

FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする

FOMA端末に登録している電話帳、スケジュール、To Doリスト、テキストメモ、メール、ブックマークをmicroSDメモリーカードに保存します。

■ FOMA端末のデータを1件コピーする場合

コピーしたいデータの一覧画面で機能メニューの「microSDへコピー」から「1件コピー」を選択、またはコピーしたいデータの詳細画面で機能メニューの「microSDへコピー」を選択します。

■ FOMA端末のデータを複数件コピーする場合

コピーしたいデータの一覧画面で機能メニューの「microSDへコピー」から「選択コピー」を選択します。

■ FOMA端末のフォルダ内の全データをコピーする場合（受信メール、送信メール、ブックマークのみ）

コピーしたいデータの一覧画面で機能メニューの「microSDへコピー」から「全コピー」を選択します。

■ FOMA端末のデータを全コピーする場合

分類一覧表示画面の機能メニューから「本体からコピー」を選択します。→P.370
または、以下の方法でも全コピーできます。

- 電話帳、スケジュール、To Doリスト、保存メール、テキストメモ
  コピーしたいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューの「microSDへコピー」から「全コピー」を選択します。
- 受信メール、送信メール、ブックマークフォルダの一覧画面で機能メニューから「microSDへ全コピー」を選択します。

おしらせ

◆iアプリの起動指定が貼り付けられているメールをコピーした場合、そのメール内のiアプリ起動に関する情報は削除されます。
◆シークレットデータ（電話帳、スケジュール）を1件コピー／選択コピーした場合、シークレットは解除されて保存されます。

次ページにつづく

◆データをmicroSDメモリーカードへ全コピーした場合、シークレットで登録されているデータ（電話帳、スケジュール）もコピーされます。ただし、シークレットフォルダのデータはコピーされません。
◆電話帳を全コピーする場合、「マイプロフィール」の内容もコピーするかどうかのメッセージが表示されます。また、プッシュトーク電話帳データも全コピーされます。
◆電話帳データを1件コピーした場合、プッシュトーク電話帳データはコピーされません。
◆電話帳詳細画面、メール詳細画面からは全コピーはできません。
◆メールをコピーしたとき、メールに添付されているファイルは種類によっては削除される場合があります。
◆「全データ表示」を行わずに「マイプロフィール」のデータを1件コピーしたときは、名前、フリガナ、自局番号、1件目に登録されているメールアドレスのみが電話帳として保存されます。「全データ表示」を行って1件コピーしたときは、登録されているすべてのデータが電話帳として保存されます。

microSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピーする

microSDメモリーカードに保存している電話帳、スケジュール、To Doリスト、テキストメモ、メール、ブックマークを、FOMA端末に追加コピーしたり、上書きコピーします。

● FOMA端末に追加コピーする

■1件のファイル内の全データを追加する場合
「ファイル一覧画面の機能メニュー」の「追加コピー」-「追加1件コピー」→P.370
「データ一覧画面の機能メニュー」の「追加全コピー」→P.371

■選択したファイル内の全データを追加コピーする場合
「ファイル一覧画面の機能メニュー」の「追加コピー」-「追加選択コピー」→P.370

■すべてのファイル内の全データを追加コピーする場合
「ファイル一覧画面の機能メニュー」の「追加コピー」-「追加全コピー」→P.370

■選択した1件のデータを追加コピーする場合
「データ一覧画面／データ詳細画面の機能メニュー」の「追加1件コピー」→P.371

● FOMA端末に上書きコピーする

■1件のファイル内の全データを上書きコピーする場合
「ファイル一覧画面の機能メニュー」の「上書コピー」-「上書1件コピー」→P.371
「データ一覧画面の機能メニュー」の「上書全コピー」→P.371

■選択したファイル内の全データを上書コピーする場合
「ファイル一覧画面の機能メニュー」の「上書コピー」-「上書選択コピー」→P.371

■すべてのファイル内の全データを上書コピーする場合
「ファイル一覧画面の機能メニュー」の「上書コピー」-「上書全コピー」→P.371

おしらせ

◆「指定発信制限」を設定中は、電話帳のデータをコピーすることはできません。
◆microSDメモリーカードに保存されているファイル数が多くなると、読み込みまたは書き込みに時間がかかる場合があります。
◆コピー中にFOMA端末の容量がいっぱいになった場合は、途中でコピーが中断されます。取り込み済みのデータは登録されます。

<ファイル一覧画面の機能メニューからコピーする場合>
◆電話帳データを追加コピー（追加1件コピー／追加選択コピー／追加全コピー）、上書コピー（上書1件コピー／上書選択コピー／上書全コピー）した場合、プッシュトーク電話帳データもコピーされます。ただし、追加コピーの場合は、グループリストの登録はされません。
◆追加コピー（追加1件コピー／追加選択コピー／追加全コピー）する場合、microSDメモリーカードに登録されているグループ名がFOMA端末に登録されているグループ名と異なるときは、電話帳の「グループなし」に登録されます。
◆追加コピー（追加1件コピー／追加選択コピー／追加全コピー）した場合、以下のデータはコピーされません。
- 同じ日付時刻で同じ繰り返し設定（なし／あり）のスケジュール
- 同じURLのブックマーク

<データ一覧画面／データ詳細画面の機能メニューからコピーする場合>
◆電話帳データを追加全コピー、上書全コピーした場合、プッシュトーク電話帳データもコピーされます。ただし、追加全コピーの場合は、グループリストの登録はされません。
◆追加全コピーする場合、microSDメモリーカードに登録されているグループ名がFOMA端末に登録されているグループ名と異なるときは、電話帳の「グループなし」に登録されます。
◆追加1件コピー、追加全コピーをした場合、以下のデータはコピーされません。
- 同じ日付時刻で同じ繰り返し設定（なし／あり）のスケジュール
- 同じURLのブックマーク

◆送信BOXがいっぱいのとき、送信メールを追加1件コピーすると、保護されていない最も古いメールに上書きされます。
◆受信BOXがいっぱいのとき、受信メールを追加1件コピーすると、保護されていない最も古い既読メールに上書きされます。

microSDメモリーカードの管理について

microSDメモリーカードをフォーマットしたり、データの使用状況を確認することができます。

- microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。→P.365

microSDメモリーカードをフォーマットする

※フォーマットは必ず本FOMA端末で行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDメモリーカードは、使用できないことがあります。

microSDメモリーカードをフォーマットして、FOMA端末で使用できるようにします。

- microSDメモリーカードをフォーマットすると、保存されているデータはすべて削除されます。フォーマットをするときは、大切なデータが保存されていないことを確認してください。

1「分類一覧表示画面」（P.369）▶(●)［機能］▶「microSDフォーマット」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

おしらせ

◆フォーマット中にmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因になります。
◆フォーマットを中止したmicroSDメモリーカードに対し保存されるデータの保証はいたしかねます。
◆フォーマット中は「[SD]」が点滅します。
◆フォーマット中に(✉)［中止］や(📞)を押した場合はフォーマットが中止され、「[SD]」が表示されます。そのときは、もう一度フォーマットしてください。

microSDメモリーカードの使用状況を確認する

microSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を確認できます。
microSDメモリーカードに保存できる件数について→P.368

1「分類一覧表示画面」（P.369）▶(●)［機能］▶「microSD情報表示」

microSDリーダー／ライターとして使う

microSDメモリーカードをFOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、microSDメモリーカード内のデータを読み込み／書き込みできます。

- microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。→P.365
- FOMA端末をmicroSDリーダー／ライターとして利用するためには、以下の機器が必要です。

項目	説明
接続ケーブル	FOMA USB接続ケーブル（別売）
パソコン	FOMA USB接続ケーブル（別売）が使用できるUSBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠）が使用可能なパソコン
対応OS	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista（各日本語版）

1「USBモード設定画面」（P.375）▶「microSDモード」

「microSDモード」に設定すると、「[SD]」が表示されます。

2FOMA端末とパソコンを、FOMA USB接続ケーブルで接続する

microSDモード中にmicroSDメモリーカードが挿入され、FOMA USB接続ケーブルが接続されている場合は、「[SD]」が表示されます。
パソコンのマイコンピュータに、microSDメモリーカードがストレージメモリ（データを保存する外部記憶領域）として表示されます。
パソコンからFOMA USB接続ケーブルを取り外すときは、各OSの安全に取り外す方法を用いてください。

おしらせ

◆パソコンとmicroSDメモリーカード間でデータの読み込み／書き込み中の場合、USBモード設定を変更したり、FOMA端末からmicroSDメモリーカードにアクセスすることはできません。また、本FOMA端末とmicroSDメモリーカード間でデータの読み込み／書き込み中の場合、パソコンからmicroSDメモリーカードにアクセスすることはできません。

次ページにつづく

■お願い
- FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- パソコンからFOMA端末へデータをコピー中の着信ランプが点滅している状態では、FOMA USB接続ケーブルを抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

USBモードを設定する

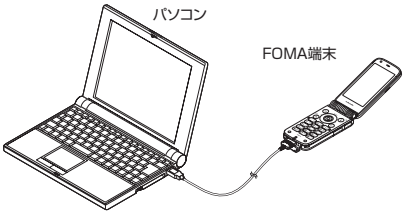
〈USBモード設定〉

お買い上げ時 通信モード

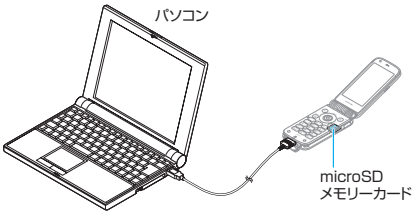
パソコンやプリンタなどとFOMA端末を接続してさまざまな機能を利用するためにUSBモードを設定します。

- USBモードには、「通信モード」、「microSDモード」、「プリントモード」、「MTPモード」があります。

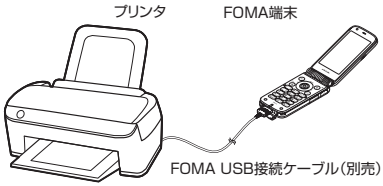
<通信モード>



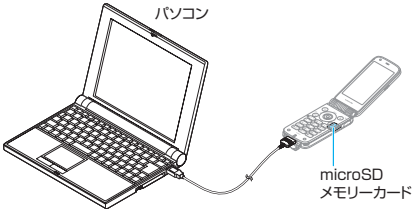
<microSDモード>



<プリントモード>



<MTPモード>



1 (MENU)▶「SETTINGS」▶「外部接続」▶「USBモード設定」

「USBモード設定画面」が表示されます。

2 以下の項目から選択



USBモード設定画面

通信モード	外部接続端子をパケット通信、64Kデータ通信、ケーブル接続によるデータ転送用に使います。 ・「」：FOMA USB接続ケーブルを接続していない場合／FOMA USB接続ケーブルを接続しているが、パソコンとの間でデータ通信やデータ転送を行う準備ができていない場合 ・「」：FOMA USB接続ケーブルが接続され、パソコンとの間でデータ通信やデータ転送を行う準備ができている場合
microSDモード	外部接続端子をmicroSDメモリーカードのリーダー／ライターとして使います。 ・「」：FOMA USB接続ケーブルを接続していない場合 ・「」：FOMA USB接続ケーブルが接続されている場合（FOMA端末とmicroSDメモリーカード間のコピー、メモリ内のデータ表示、フォーマットなどはできません）
プリントモード	外部出力端子をPictBridge印刷用に使います。 ・「」：FOMA USB接続ケーブルを接続していない場合／FOMA USB接続ケーブルを接続しているが、プリントの準備ができていない場合 ・「」：FOMA USB接続ケーブルが接続され、プリントの準備ができている場合
MTPモード	外部接続端子をWMAデータ転送用に使います。 ・「」：FOMA USB接続ケーブルを接続していない場合 ・「」：FOMA USB接続ケーブルが接続されている場合

フォルダとデータを操作する

マイピクチャ、ミュージック、iモーション、メロディ、マイドキュメント、ドキュメントビューアのフォルダー覧画面やmicroSDフォルダー覧画面にフォルダを追加して、それぞれのデータを整理することができます。

- iアプリがmicroSDメモリーカードにデータ保存を行っている場合、microSDメモリーカード内のデータにアクセスしようとすると、操作できないことを通知するメッセージが表示されます。

フォルダを作成／編集／削除する

フォルダー覧画面の機能メニュー

- ミュージックの移行可能コンテンツフォルダ（P.340）のフォルダー覧画面の場合も以下の機能メニューを利用できます。

フォルダ追加	▶フォルダ名を入力 フォルダを追加します。 フォルダ名は全角文字で10文字、半角文字で20文字まで入力できます。
フォルダ名編集	▶フォルダ名を編集 追加したフォルダのフォルダ名を編集します。 全角文字で10文字、半角文字で20文字まで入力できます。
デスクトップ貼付※1	「デスクトップアイコンを利用する」→P.149
フォルダ削除	■ミュージックの場合 ▶端末暗証番号を入力▶削除方法を選択▶「YES」 ■ミュージック以外の場合 ▶端末暗証番号を入力▶「YES」 データが保存されているフォルダも削除できます。
全削除※2※3	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 お客様が保存したすべてのデータを削除します。ただし、シークレットフォルダに保管したデータは削除されません。
プログラム編集※4	プログラム編集を開始します。すでにプログラムされているときは、プログラムを編集することができます。 「メロディを好きな順に再生する」→P.364
プログラム解除※4	プログラムを解除します。

※1：ミュージックのみ表示されます。
※2：マイピクチャでは「画像全削除」、iモーションでは「動画全削除」、メロディでは「メロディ全削除」が表示されます。
※3：ミュージック、ミュージックの移行可能コンテンツフォルダ、マイドキュメントのときには表示されません。
※4：メロディのプログラムフォルダのみ表示されます。

次ページにつづく

おしらせ

＜フォルダ追加＞

◆移行可能コンテンツフォルダのフォルダ最大件数は65,535件、1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数は65,535件です。

＜フォルダ名編集＞

◆ユーザ作成フォルダのみフォルダ名編集ができます。

＜フォルダ削除／画像全削除／動画全削除／メロディ全削除＞

◆ユーザ作成フォルダのみフォルダ削除ができます。

◆画面や自作アニメ、スケジュールのユーザアイコンなどに設定されている画像や動画を「フォルダ削除」または「画像全削除」、「動画全削除」で削除しようとしたときや、着信音、アラーム、プログラムやランダムメロディなどに設定されているメロディを「フォルダ削除」または「メロディ全削除」で削除しようとしたときは、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して削除した場合、設定されていた画面などは以下のようになります。

- 設定されていた画面、着信音、アラームはお買い上げ時の設定に戻ります。
- 自作アニメ、プログラムは解除されます。
- スケジュールのアラーム通知画面は「」を設定したときの画面になります。

microSDフォルダー覧画面の機能メニュー

トルカの場合は「トルカフォルダー覧画面の機能メニュー」(P.309)を、ブックマークの場合は「Bookmarkフォルダー覧画面の機能メニュー」(P.220)をご覧ください。

● iモーションの移行可能コンテンツフォルダ(P.341)のフォルダー覧画面の場合も以下の機能メニューを利用できます。

フォルダタイトル編集※1	▶タイトルを編集 フォルダのタイトルを編集します。全角文字で31文字、半角文字で63文字まで入力できます。※2
フォルダ作成※1	▶タイトルを入力 フォルダを作成します。フォルダタイトルは全角文字で31文字、半角文字で63文字まで入力できます。※2
DPOF印刷※1※3	「保存した画像を印刷する」→P.392
フォルダ削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 反転表示したフォルダを削除します。

※1：「イメージボックス」や「デコメ絵文字」のときには表示されません。

※2：「iモーション」の移行可能コンテンツフォルダ、「メロディ」のときには全角文字で10文字、半角文字で20文字までの入力となります。

※3：「iモーション」、「メロディ」、「マイドキュメント」、「ドキュメントビューア」のときには表示されません。

おしらせ

＜フォルダ作成＞

◆「イメージボックス」内および、「デコメ絵文字」内のフォルダは、FOMA端末では作成できません。パソコンなどで作成可能です。

◆移行可能コンテンツフォルダのフォルダ最大件数は65,535件、1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数は65,535件です。

＜フォルダ削除＞

◆以下のフォルダを削除しようとすると、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

- パソコンなどで読み取り専用に設定されているフォルダ
- ファイルが含まれているフォルダ

データをほかのフォルダに移動する

画像や動画などのデータをほかのフォルダに移動します。

1 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶[i]［機能］▶「フォルダ移動」▶以下の項目から選択

1件移動	▶移動先のフォルダを選択▶「YES」 選んだデータを移動します。
選択移動	▶移動先のフォルダを選択▶移動したいデータを選択▶✉［完了］▶「YES」 複数のデータを移動できます。
全移動	▶移動先のフォルダを選択▶「YES」 フォルダ内のデータをすべて移動します。

FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする

INBOXフォルダ、カメラフォルダ、ユーザ作成フォルダなどに保存されているデータをmicroSDメモリーカードにコピーします。

1 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶[i]［機能］▶「microSDへコピー」▶以下の項目から選択

1件コピー	▶コピー先のフォルダを選択 選んだデータをコピーします。
選択コピー	▶コピー先のフォルダを選択▶コピーしたいデータを選択▶✉［完了］▶「YES」 複数のデータをコピーできます。
全コピー	▶端末暗証番号を入力▶コピー先のフォルダを選択▶「YES」 フォルダ内のデータをすべてコピーします。

おしらせ

◆データ量によってはコピーに時間がかかる場合があります。

◆コピー処理中はmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因になります。

◆以下の場合はmicroSDメモリーカードへコピーできません。

- お買い上げ時に登録されているデータのとき
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータのとき
- 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した静止画／動画のとき

・microSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないとき
・対応microSDメモリーカード以外のとき
・microSDメモリーカードにエラーが発生したとき
・microSDメモリーカードが挿入処理中のとき
・部分的に取得したデータ（ｉモーション、PDF）のとき

◆静止画や動画をmicroSDメモリーカードへコピー中に着信やメール受信、アラーム通知などがあった場合は、microSDメモリーカードへのコピーは中断されます。
◆保存先フォルダのファイル件数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダが作成されその中に保存されます。

＜画像のコピー＞
◆コピー後のファイル名は以下のようになります。
・ファイル名：NEC_mmmm（mmmm＝0001～9999）
◆以下の場合はmicroSDメモリーカードへコピーできません。
・JPEG形式、GIF形式の画像以外のとき
・コピーするとファイル容量が2Mバイトを超えるとき
◆microSDメモリーカードへコピーすると、ファイル容量が大きくなる場合があります。

＜動画のコピー＞
◆コピー後のファイル名は以下のようになります。
・ファイル名：MOLxxx（xxx＝001～FFF：16進数）

microSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピーする

microSDメモリーカードに保存されているデータをFOMA端末のINBOXフォルダにコピーします。

1 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶(≡)［機能］▶「本体へコピー」▶以下の項目から選択

1件コピー	選んだデータをコピーします。
選択コピー	▶コピーしたいデータを選択▶(✉)［完了］▶「YES」 複数のデータをコピーできます。
全コピー	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 フォルダ内のデータをすべてコピーします。

おしらせ
◆データ量によってはコピーに時間がかかる場合があります。
◆コピー処理中はmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因になります。
◆静止画のコピー中に着信やメール受信、アラーム通知などがあった場合、コピーは継続されます。動画のコピー中に着信やメール受信、アラーム通知などがあった場合は、コピーは中断されます。
◆デコメ絵文字の場合は、FOMA端末のデコメ絵文字フォルダにコピーされます。

＜画像のコピー＞
◆Flash画像はコピーできません。
◆2Mバイトを超える画像はコピーできません。
◆以下の画像はコピーできません。
・横または縦の最大が2,304ドットを超える画像
・総ドット数が2,304×1,728ドットを超える画像
・横または縦の最大が854ドットを超えるプログレッシブJPEG形式、GIF形式の画像
・総ドット数が854×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式、GIF形式の画像
プログレッシブJPEG形式の画像→P.223
◆コピーした画像のファイル名は、microSDメモリーカードに保存されている画像のファイル名になります。

＜動画のコピー＞
◆以下の場合はコピーできません。
・MP4形式以外の動画のとき
・再生できないMP4形式の動画のとき
・10Mバイトを超える動画のとき
※ 上記の条件以外でも動画によってはコピーできない場合があります。

＜PDFデータのコピー＞
◆2Mバイトを超えるPDFデータはコピーできません。

microSDメモリーカード内の別のフォルダにデータをコピーする

microSDメモリーカード内のデータを、microSDメモリーカード内の別のフォルダにコピーします。

● コピー先のフォルダは、あらかじめ作成しておく必要があります。→P.375

1 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶(≡)［機能］▶「コピー」▶以下の項目から選択

1件コピー	▶コピー先のフォルダを選択 選んだデータをコピーします。
選択コピー	▶コピー先のフォルダを選択▶コピーしたいデータを選択▶(✉)［完了］▶「YES」 複数のデータをコピーできます。
全コピー	▶コピー先のフォルダを選択 フォルダ内のデータをすべてコピーします。

データを削除する

画像や動画などのデータを削除します。

1 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶(≡)［機能］▶「削除」▶以下の項目から選択

1件削除	選んだデータを削除します。

次ページにつづく

選択削除	▶削除したいデータを選択▶✉［完了］▶「YES」 複数のデータを削除できます。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 フォルダ内のデータをすべて削除します。

おしらせ

＜画像の削除＞

◆お買い上げ時に登録されている画像は削除できません。

◆画面や自作アニメ、スケジュールのユーザアイコンなどに設定されている画像を削除した場合、設定されていた画面などは以下のようになります。

- 設定されていた画面はお買い上げ時の設定に戻ります。
- 自作アニメは解除されます。
- スケジュールのアラーム通知画面は「🕒」を設定したときの画面に置き換わります。

◆メールに添付した静止画を削除した場合、メールに添付されている静止画は削除されません。

＜動画の削除＞

◆待受画面に設定されている動画やｉモーションを削除すると、待受画面はお買い上げ時の設定に戻ります。

◆着信音やアラーム音などに設定されているｉモーションを削除すると、設定されていた着信音やアラーム音はお買い上げ時の状態に戻ります。

＜キャラ電の削除＞

◆テレビ電話の代替画像に設定されているキャラ電を削除した場合は、お買い上げ時に登録されているキャラ電「Dimo」が代替画像に設定されます。「Dimo」が削除されている場合はお買い上げ時に登録されている静止画の代替画像を送信します。

◆電話帳に設定されているキャラ電を削除した場合は、電話帳に設定されているキャラ電も削除されます。

＜メロディの削除＞

◆着信音やアラーム音などに設定されているメロディを削除すると、設定されていた着信音やアラーム音はお買い上げ時の状態に戻ります。

＜きせかえツールの削除＞

◆きせかえツールに設定されているパッケージを削除した場合、設定されていた画面などはお買い上げ時の設定に戻ります。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

撮影した静止画や動画を保存しようとした場合や、サイトなどから画像やメロディ、ｉモーション、キャラ電などを保存しようとした場合に、登録するためのメモリ容量が不足しているときや保存件数がいっぱいのときは、不要なデータを削除して保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。

1 確認メッセージで、「YES」

■保存しない場合

▶「NO」

2 フォルダを選択▶削除するデータを選択

■着うたフル®、PDFデータ、画面メモの場合

着うたフル®、PDFデータ、画面メモはデータを保存する領域を共有しています。

▶削除するデータの種類を選択▶フォルダを選択▶削除するデータを選択（削除するデータで「画面メモ」を選択した場合、フォルダ選択画面はありません）

3 ✉［完了］▶「YES」

データを登録するためのメモリ容量が確保できるまで✉［完了］は表示されません。

おしらせ

◆画面などに設定されている画像、動画、または着信音に設定されているメロディを削除しようとしたときは、設定中のファイルを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して削除すると、設定されていた画面や着信音などはお買い上げ時の設定になります。

〈電話帳画像転送〉

電話帳の画像を転送しないように設定する

お買い上げ時：する

赤外線通信機能やｉC通信機能、microSDメモリーカードへのコピー、データの送受信（OBEX）機能で電話帳のデータを送信するとき、電話帳に登録されている静止画を転送しないように設定します。

1 MENU▶「LIFE KIT」▶「電話帳画像転送」▶「しない」

■送信する場合

▶「する」

〈赤外線通信／ｉC通信／OBEX〉

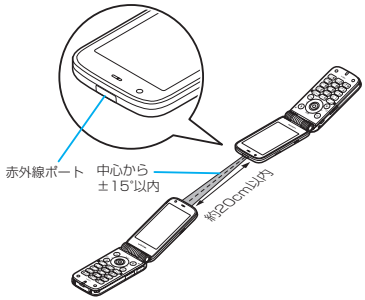
赤外線通信／ｉC通信／ケーブル接続によるデータ転送について

赤外線通信、ｉC通信またはケーブル接続で、パソコンやほかのFOMA端末との間で電話帳や受信メールなどのデータを転送できます。

- 転送できるデータは以下のとおりです。
  - 受信メール、送信メール、保存メール
  - ｉモードブラウザまたはフルブラウザのブックマーク
  - 電話帳
  - PDFデータ※1
  - トルカ、トルカ（詳細）
  - マイプロフィールの個人データ
  - テキストメモ
  - To Doリスト
  - 休日／記念日※2
  - スケジュール
  - 静止画※1
  - 動画（ｉモーション）※1
  - メロディ※1
  - 現在地通知先
  - ユーザ辞書

・定型文
※1： 赤外線通信、ｉC通信で全件送信できません。
※2： ケーブル接続のときのみ転送できます。

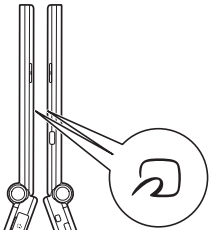
赤外線通信でデータ転送するときは



- 受信側のFOMA端末を先に受信状態にして、送信側FOMA端末と受信側FOMA端末の赤外線ポートを約20cm以内に近づけます。
- 机などの安定した台の上に、赤外線ポートが平行に向き合うように置いてください。
- 通信中はFOMA端末を動かさないでください。
- 通信中はFOMA端末の間にものを置いたり、赤外線ポートをふさいだりしないでください。
- データ転送できなかったときは、FOMA端末の位置を調節して再度通信を行ってください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。

ｉC通信でデータ転送するときは

送信側FOMA端末の FeliCa マーク「」と受信側FOMA端末の FeliCa マーク「」を重ね合わせます。



- 相手のFOMA端末によっては、データを送受信しにくい場合があります。その場合は、FeliCaマーク「」どうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。

ケーブル接続でデータ転送するときは

- データ転送にはドコモケータイdatalink(P.474)などの通信ソフトが必要です。
- データ転送の前に、「USBモード設定」を「通信モード」に設定しておく必要があります。→P.374

■お願い
- FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データを転送できないだけでなく、データが失われることがあります。また、N904i通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしてください。→P.473
- FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データ転送ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- パソコンからFOMA端末への全件送信の途中で送信エラーが起こると、FOMA端末内の書き込み対象のデータがすべて消去されることがあります。全件送信の前にケーブルの接続、FOMA端末の電池レベル、パソコンの電源の状態を確認してください。

データ転送するときのご注意

データ転送を行う前に

- ほかの機能が動作中は、データ転送できません。ほかの機能をすべて終了させてから操作を行ってください。また、データ転送中は、ほかの機能を利用できません。
- 音声通話中やテレビ電話中、プッシュトーク通信中、ｉモード中、パケット通信中、64Kデータ通信中は、データ転送できません。→P.502
- ダイヤルロック設定中、セルフモード設定中、おまかせロック設定中、キー操作ロック中は、データ転送できません。また、ICカードロック設定中はｉC通信を行うことができません。
- 「指定発信制限」が設定されている場合、電話帳のデータは受信できません。ただし、電話帳データの送信の際には、「指定発信制限」を設定した電話帳データ、「マイプロフィール」の個人データを送信できます。
- 送信する相手のFOMA端末の状態によっては、データ転送できない場合があります。また、相手の機種によって、受信メールやブックマークのフォルダ分けの設定などが反映されなかったり、デコメールの内容などが正常に登録できない場合があります。
- FOMA端末の赤外線通信、ケーブル接続およびｉC通信によるデータ転送機能はIrMC1.1に準拠しています。IrMC1.1に準拠していない端末やパソコンとデータ転送できない場合があります。また、相手の機種やアプリケーションによっては、IrMC1.1に準拠していても転送できないデータがあります。
- 静止画およびメロディ、動画やｉモーション、PDFデータ、プッシュトーク電話帳、トルカをケーブル接続でデータ転送する場合は、IrMC規格外となるため、FOMA N904iに対応したデータ転送用のソフトが必要です。

データ転送中の動作について

- データ転送中は圏外になるため、音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、ｉモード、ｉモードメール、パケット通信、64Kデータ通信などはできません。ただし、データ転送を開始直後などは着信を受ける場合があります。その場合、データ転送は中止されます。また、データ転送の終了後、しばらく圏外の状態が続くことがあります。
- 赤外線通信やｉC通信中、以下のようなときは通信が中断されて、続けるかどうかのメッセージが表示されます。
  - 受信側で約30秒以内にデータの受信がないとき
  - 送信側で受信側の端末を検出できないとき

  「YES」を選択すると、もう一度通信をやりなおすことができます。
  このとき、約30秒以内に操作しないと、自動的に通信を終了します。
- 転送するデータ量によっては、通信に時間がかかる場合があります。また、受信できない場合があります。電話帳を転送するときは、登録されている静止画も転送されるため、転送に時間がかかることがあります。送信の時間を短縮するために、「電話帳画像転送」を「しない」に設定し、電話帳の静止画を送信しないようにできます。

データ転送で送受信されるデータについて

- 本FOMA端末で受信したデータは、以下のように登録されます。

データ	保存場所／保存順	
静止画、画像	INBOXフォルダの1番目に登録されます。	
メロディ		
動画・ｉモーション	INBOXフォルダに日付の順に登録されます。	
PDFデータ		
トルカ、トルカ（詳細）※1	トルカフォルダの1番目に登録されます。	
電話帳※2	電話帳のメモリ番号「010」～「999」の空いているメモリ番号のうち最も小さいメモリ番号に登録されます。「010」～「999」がすべて登録されているときは、「000」～「009」の空いているメモリ番号のうち最も小さいメモリ番号に登録されます。	
マイプロフィール		
スケジュール	受信したスケジュールの開始日時に従って登録されます。	
To Doリスト	To Doリストの1番目に登録されます。	
受信メール※3	（1件受信）	受信BOXフォルダに、受信メールの日付の順に登録されます。
	（全件受信）	転送元のフォルダ構成に合わせて、ユーザ作成フォルダやごみ箱フォルダに格納されます。
送信メール※3	（1件受信）	送信BOXフォルダに、送信メールの日付の順に登録されます。
	（全件受信）	転送元のフォルダ構成に合わせて、ユーザ作成フォルダに格納されます。
保存メール	保存BOXに、保存メールの日付の順に登録されます。	
テキストメモ	＜未登録＞の1番目に登録されます。	
定型文	（1件受信）	＜未登録＞の1番目に登録されます。※5
	（全件受信）	送信元と同じ順番、内容で登録されます。
ユーザ辞書	（1件受信）	ユーザ辞書の1番目に登録されます。
	（全件受信）	送信元と同じ順番で登録されます。
ｉモードのブックマーク	（1件受信）	ｉモードメニューのBookmarkフォルダの1番目に登録されます。
	（全件受信）	ｉモードメニューのBookmarkフォルダに送信元と同じ順番で登録されます。※4
フルブラウザのブックマーク	（1件受信）	フルブラウザのBookmarkフォルダの1番目に登録されます。
	（全件受信）	フルブラウザのBookmarkフォルダに送信元と同じ順番で登録されます。※4
現在地通知先	（1件受信）	現在地通知先リストのうち最も小さい番号に登録されます。
	（全件受信）	現在地通知先リストの最も小さい番号から順番に登録されます。

※1：赤外線通信で、1件ずつ送信する場合、トルカ（詳細）を送信するかどうかの確認画面が表示されます（「YES」を選択するとトルカ（詳細）を送信します）。
※2：赤外線通信、ケーブル接続、ｉC通信によるデータ転送では、プッシュトーク電話帳の順番が転送できません。受信した順番にプッシュトーク電話帳を登録するため、メモリ番号順に表示順番が変更されます。
※3：赤外線通信の場合、2Mバイトを超えるメールは正しく送信できないことがあります。
※4：送信元の相手の機種によっては、同じ順番で登録されない場合があります。
※5：定型文を受信したときに、自作の定型文がフォルダ3～5すべてに登録済みで、フォルダ1～2の固定定型文がお買い上げ時の状態のままのときは、フォルダ1～2に受信した定型文が上書きされます。

- 静止画を全件受信すると、電話帳に登録された静止画もすべて削除されます。
- 電話帳を受信すると、受信した電話帳に登録されていた静止画は「マイピクチャ」のINBOXフォルダに登録されます。ただし「マイピクチャ」の保存可能容量を超えた場合は、超えた静止画を削除して電話帳が登録され、静止画を登録できなかった電話帳があることを通知するメッセージが表示されます。
- 静止画や動画、ｉモーション、PDFデータのタイトルは、全角で最大9文字、半角で最大18文字を送受信できます。メロディのタイトルは、全角で最大25文字、半角で最大50文字を送受信できます。タイトルが最大文字数を超えた場合、超えた分の文字が削除されて登録されます。
- メールや電話帳などに入力されている絵文字や一部の記号は、正しく受信できない場合があります。

- 以下のデータは、送受信できません。
  - FOMAカードの電話帳、SMS
  - シークレットフォルダ内のデータ
  - フレームのデータ(受信のみ可能)やFlash画像
  - FOMAカード動作制限が設定されたメロディ、静止画、動画やｉモーション、PDFデータ
- 以下のデータは、受信できません。
  - JPEG、GIF形式以外の静止画
  - MP4、3GP形式以外の動画
  - 本FOMA端末で扱うことのできないサイズや容量の静止画、動画、ｉモーション、メロディ、PDFデータ
- 以下の場合は登録できません。
  - 同じURLのブックマークを受信したとき
  - 同じ日付時刻で同じ繰り返し設定（なし／あり）のスケジュールのデータを受信したとき
  - 時計設定が行われていないときに、スケジュールまたはTo Doリストのデータを受信したとき
  - 同じ単語で同じ読みのユーザ辞書のデータを受信したとき
  - すでにデータの最大保存件数まで保存されていたり、メモリがいっぱいの状態で、同じ種類のデータを受信したとき
- 電話帳のデータを転送するときは、以下のことに注意してください。
  - 転送される電話帳のデータは、名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、メモ、誕生日、静止画、位置情報の各データおよびアイコン情報です。電話帳に複数の電話番号およびメールアドレスが登録されているときは、すべてのデータが転送されます。
  - 電話帳のシークレットコードは転送できません。
  - シークレットデータとして登録された電話帳を赤外線通信またはｉC通信で1件送信すると、シークレットが解除されて転送されます。
  - 全件送信をすると、電話帳はメモリ番号順に送信されます。
  - 電話帳を全件送信すると、「マイプロフィール」のデータが一緒に送信されます。受信側では、「マイプロフィール」に登録されている個人データ（電話番号を除く）が上書きされます。
  - 電話帳に絵文字や記号を使用している場合、対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、受信側で絵文字や一部の記号が正しく表示されないことがあります。
  - 全件送受信する場合、プッシュトーク電話帳が登録されているときは電話帳とプッシュトーク電話帳が転送されます。1件ずつ転送する場合、電話帳のみ転送されます。ただし、転送後にプッシュトーク電話帳に登録するかどうかのメッセージが表示され、プッシュトーク電話帳に登録可能です。
- メールのデータを転送するときは、以下のことに注意してください。
  - ｉアプリの起動指定が貼り付けられているメールは、貼り付けられているデータを削除して送信します。メールに添付されているデータのファイル制限が「あり」の場合、そのデータも削除されて送信されます。また、静止画の形式によっては削除されて送信されるものがあります。ただし、送信メールと保存メールの場合で、ケーブル接続で受信したデータ、microSDメモリーカードからコピーしたデータは、ファイル制限を「あり」に設定していても送信されます。
  - データの取得が完了していない添付ファイルが存在する場合は、その添付ファイルは削除されて送信されます。
  - 受信メールの1件受信で受信BOXフォルダの空き容量が不足しているときは、ゴミ箱のメール、古い受信メールから順に自動的に削除されます。ただし、未読のメールと保護されている受信メール、シークレットフォルダ内のｉモードメールやSMSは削除されません。必要なメールは保護することをおすすめします。
  - 送信メールの1件受信で送信BOXフォルダの空き容量がないときは、送信BOXフォルダの保護されていない最も古い送信メールに上書きされます。
  - メールの全件受信の場合は既存の全メールおよび全ユーザフォルダを削除してから受信します。
  - メール連動型ｉアプリの受信メールフォルダ、送信メールフォルダは転送できません。フォルダ内のメールはすべて受信BOXフォルダまたは送信BOXフォルダに登録されます。
  - メールの本文などに絵文字や記号を使用している場合、対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、受信側で絵文字や一部の記号が正しく表示されないことがあります。
  - ｉモードメール本文に貼り付けられているメール連動型ｉアプリの情報は転送できません。
  - 受信メール一覧画面や送信メール一覧画面で設定した「色分け」の設定は転送できません。

データを1件ずつ転送する

パソコンやほかのFOMA端末との間でデータを1件ずつ転送します。

- ケーブル接続でFOMA端末からパソコンへ1件ずつデータを送信することはできません。
- 通信状況を表すバー表示は送信した容量を目安としてお知らせします。PDFデータを転送すると、データが正しく転送されていてもバー表示が2回表示されることがあります。

赤外線通信でデータを1件ずつ送信する〈赤外線送信〉

送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「赤外線送信」を選択します。

＜例：電話帳のデータを1件送信するとき＞

1「電話帳詳細画面」(P.112)▶(i)［機能］▶「赤外線送信」▶赤外線ポートを相手側に向ける▶「YES」

相手の端末を受信状態にしておきます。
データの送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■送信を中止する場合
▶「NO」

■送信中に中止する場合
▶(メール)［中止］

ｉC通信でデータを１件ずつ送信する〈ｉC送信〉

送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「ｉC送信」を選択します。

＜例：電話帳のデータを１件送信するとき＞

1 「電話帳詳細画面」(P.112)▶●[機能]▶「ｉC送信」

2 FeliCa マーク「」を相手側のFeliCa マーク「」に重ね合わせる▶「YES」

データの送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■送信を中止する場合
▶「NO」

■送信中に中止する場合
▶✉[中止]

赤外線通信でデータを１件ずつ受信する〈赤外線受信〉 MENU79

1 MENU▶「LIFE KIT」▶「赤外線受信」

「赤外線受信画面」が表示されます。



赤外線受信画面

2 「受信」▶赤外線ポートを相手側に向ける▶相手のFOMA端末からデータを受信する

データの受信がはじまります。
通信相手によっては、通信状況を示すバーが表示されない場合があります。

3 「YES」

受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。
受信後、約30秒間操作しないときは受信したデータが破棄されます。

■受信したデータを登録しない場合
▶「NO」

おしらせ

◆相手の端末から全送信された場合は、赤外線全受信できることがあります。その場合は、赤外線全受信の操作となります。
◆赤外線受信画面の機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択して、赤外線受信機能をデスクトップアイコンとして登録することができます。

ｉC通信でデータを１件ずつ受信する〈ｉC受信〉

1 FeliCa マーク「」を相手側のFeliCa マーク「」に重ね合わせる▶相手のFOMA端末からデータ送信の操作を行う

データの受信がはじまり、通信状況を示すバーが表示されます。

2 「YES」

受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。
受信後、約30秒間操作しないときは受信したデータが破棄されます。

■受信したデータを登録しない場合
▶「NO」

ケーブル接続でデータを１件ずつ受信する〈1件書き込み〉

- データ転送の操作方法は、データ通信用のソフトによって異なります。詳しくは、データ通信用のソフトの取扱説明書をご覧ください。

1 パソコンでデータ通信用のソフトを使って、パソコンから１件送信するための操作をする

2 パソコンからデータを送信する

データのサイズによっては通信状況を表すバー表示の進み具合が遅くなることがあります。

3 「YES」

受信が完了すると、通信の完了を通知するメッセージが表示されます。
受信後、約30 秒以内に操作をしないと、受信したデータを破棄して画面を終了します。

■受信したデータを登録しない場合
▶「NO」

データをまとめて転送する

パソコンやほかのFOMA端末との間でデータをすべて転送します。

- 全受信をすると、受信したデータによりFOMA端末のデータは上書きされ、登録されていたデータは保護メール、電話帳やスケジュールのシークレットデータも含めてすべて削除されます。ただし、フレームやFlash画像、シークレットフォルダ内のシークレットデータは消去されません。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことをお確かめください。
- データをまとめて転送するとき、送信側と受信側を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。
「認証パスワードについて」→P.383

- 通信状況を表すバー表示は送信した件数を目安としてお知らせします。転送するデータのサイズによっては、データが正しく転送されていてもバー表示の進み具合が遅くなることや、通信の相手側と異なって見えることがあります。
- データをまとめて転送すると、受信側ではデータの並び順が変わる場合があります。

認証パスワードについて

- 全送信、全受信では、送信側と受信側のFOMA端末を正しく認識するために、認証パスワードを使用します。認証パスワードは、全送信、全受信を開始する前にお好きな4桁の番号を決めておき、送信側と受信側で同じ番号を入力します。

赤外線通信でデータをまとめて送信する〈赤外線全送信〉

全件送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「赤外線全送信」を選択します。

＜例：電話帳のデータを全送信するとき＞

1 「電話帳一覧画面」(P.112) ▶ ⓜ［機能］▶「赤外線全送信」

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

「認証パスワードについて」→P.383

3 赤外線ポートを相手側に向ける▶「YES」

相手の端末を全受信状態にしておきます。
データの全送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 全送信を中止する場合
▶「NO」

■ 送信中に中止する場合
▶✉［中止］

iC通信でデータをまとめて送信する〈iC全送信〉

全件送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「iC全送信」を選択します。

＜例：電話帳のデータを全送信するとき＞

1 「電話帳一覧画面」(P.112) ▶ ⓜ［機能］▶「iC全送信」

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

「認証パスワードについて」→P.383

3 FeliCa マーク「」を相手側のFeliCa マーク「」に重ね合わせる▶「YES」

データの全送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 全送信を中止する場合
▶「NO」

■ 送信中に中止する場合
▶✉［中止］

赤外線通信でデータをまとめて受信する〈赤外線全受信〉

1 「赤外線受信画面」(P.382) ▶「全受信」

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

「認証パスワードについて」→P.383

3 赤外線ポートを相手側に向ける▶「YES」

■ 全受信を中止する場合
▶「NO」

4 上書き確認画面が表示されたら「YES」

■ 全受信を中止する場合
▶「NO」

5 相手の FOMA 端末からデータを全受信

データの全受信がはじまります。

■ 受信中に中止する場合
▶✉［中止］

おしらせ

◆赤外線受信画面の機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択して、赤外線受信機能をデスクトップアイコンとして登録することができます。

iC通信でデータをまとめて受信する〈iC全受信〉

1 FeliCa マーク「」を相手側のFeliCa マーク「」に重ね合わせる

2 相手の FOMA 端末からデータ全送信の操作を行う

3 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

「認証パスワードについて」→P.383
データの受信がはじまり、通信状況を示すバーが表示されます。

■ 受信中に中止する場合
▶✉［中止］

4 上書き確認画面が表示されたら「YES」

受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。
受信後、約25秒間操作しないときは受信したデータが破棄されます。

■ 全受信したデータを登録しない場合
▶「NO」

ケーブル接続でデータをまとめて送受信する〈全件書き込み／全件読み出し〉

- データ転送の操作方法は、データ通信用のソフトによって異なります。詳しくは、データ通信用のソフトの取扱説明書をご覧ください。

＜例：FOMA端末からパソコンへデータを全件送信する場合＞

1 パソコンでデータ通信用のソフトを使って、FOMA端末から全件送信するための操作をする

パソコン側でも認証パスワードの入力が必要です。
認証パスワードは4桁の番号を入力してください。

2 FOMA端末で端末暗証番号を入力▶FOMA端末で認証パスワードを入力

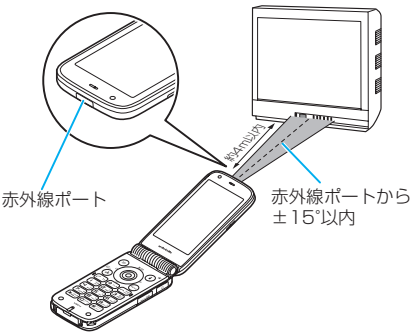
データが転送されます。送信を完了すると、通信の完了を通知するメッセージが表示されます。
「認証パスワードについて」→P.383

赤外線リモコン機能を利用する

- リモコン機能を利用する場合は、ご使用になる機器に対応したソフトをダウンロードしてください。
- お買い上げ時には「Gガイド番組表リモコン」が登録されています。→P.299
- リモコンのボタン操作はソフトにより異なります。
- 機器によってはリモコン操作ができない場合があります。
- セルフモード設定中は、赤外線リモコン機能を利用できません。

リモコン操作について

- FOMA端末の赤外線ポートを、テレビなどのリモコン受信部の正面に向けてリモコン操作をしてください。操作できる範囲は正面で約4mですが、周囲の明るさによって変わります。



〈マイドキュメント〉

PDFデータを表示する

サイトからダウンロード／保存したPDFデータをPDF対応ビューアで表示します。また、microSDメモリーカードに保存されているPDFデータを表示することもできます。

- サイトからのダウンロードについて→P.223

1 MENU▶「DATA BOX」▶「マイドキュメント」

「フォルダー覧画面」が表示されます。



フォルダー覧画面

機能メニュー➡P.375

2 フォルダを選択

「PDFデーター覧画面」が表示されます。



PDFデーター覧画面

機能メニュー➡P.388

3 PDFデータを選択

「PDFデータ画面」が表示されます。



PDFデータ画面

機能メニュー ➡P.388

■ パスワード入力画面が表示された場合

PDFデータに設定されているパスワードを入力してください。

■ ダウンロードを再開するというメッセージが表示された場合

ページ単位で部分的に取得したPDFデータを開こうとしています。残りのページ（データ）を後から追加でダウンロードできます。
→P.224

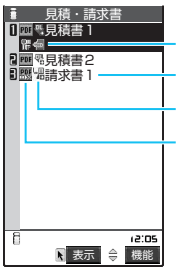
■ 残りすべてをダウンロードするかどうかのメッセージが表示された場合

データの取得が中断されたなどの理由により一部のデータしか取得できなかったPDFデータを開こうとしています。残りのデータを追加でダウンロードする必要があります。→P.224

おしらせ

◆PDFデータによっては、表示に時間がかかることがあります。
◆PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むPDFデータの場合、正しく表示されないことがあります。
◆ページ単位で部分的に取得したPDFデータを表示中に、まだ取得していないページを表示しようとすると、データの取得（ダウンロード）が行われます。残りページを一括でダウンロードすることもできます。→P.224
◆パソコンなどからmicroSDメモリーカードにPDFデータを保存する場合は、指定のフォルダ構成、フォルダ名、ファイル名で保存してください。→P.367
フォルダ構成やフォルダ名、ファイル名が異なると、FOMA端末で表示できません。
◆microSDメモリーカード内のPDFデータを表示中は、「」が点滅します。

PDFデータ一覧の見かた



■ PDFデータ種別アイコン

アイコン	説明
(水色)／(水色)※1	すべてのページが取得されているPDFデータ。「(青色)」、「(青色)※1」で表示されるPDFデータは、ファイルサイズが2Mバイトを超えるPDFデータです。FOMA端末本体に保存することはできません。
(水色)※1	ページ単位で部分的に取得したPDFデータ。まだ取得されていないページは、後から追加でダウンロードできます。※2 →P.224
(水色)※3／(水色)※1	データの取得が中断されたなどの理由により一部のデータしか取得できなかったPDFデータ。残りすべてのデータを追加でダウンロードすることで、PDFデータを表示できるようになります※2（データによっては閲覧可能なPDFデータにならない場合があります）。→P.224

※1：アイコンに「」が付いて表示されるPDFデータはファイル制限が設定されているため、赤外線通信やiC通信、ケーブル接続でデータを転送したり、microSDメモリーカードにコピーしたりできません。
※2：「(水色)」、「(水色)」、「(水色)」のアイコン表示は、残りすべてのページ（データ）を追加ダウンロードして保存すると、「(水色)」や「(水色)」のアイコン表示になります。
※3：赤外線通信やiC通信、ケーブル接続によりデータ転送することはできません。

■ 取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	お買い上げ時に登録されているPDFデータ
	サイトなどからダウンロードしたPDFデータ
	microSDメモリーカード、パソコンなどから取得したPDFデータ

■ 設定できる項目アイコン

アイコン	説明
	iモードメールに添付できるPDFデータ（2Mバイト以下）
	赤外線送信とiC送信が可能なPDFデータ
	microSDメモリーカードにコピー可能なPDFデータ

おしらせ

◆microSDメモリーカードのフォルダを表示しているときなどに「(青色)」または「(青色)」のアイコンで表示されるPDFデータは、本FOMA端末ではご利用できません。

PDFデータ画面の操作について

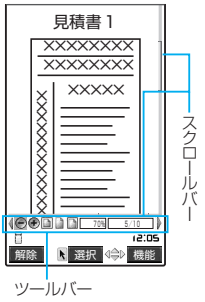
PDFデータ画面は、スクロールバーとツールバーを使って操作します。

■ スクロールバー

画面にスクロールバーが表示されます。スクロールバーは表示されているページの位置を示します。

■ ツールバー

ツールバーに表示されるアイコンを操作します。画面の倍率を変えて表示したり、表示を回転させるなどの操作ができます。



■ ツールバーのアイコンを操作する場合

▶Ⓜ［ツール］

ツールバーのアイコンの操作を解除するにはⓂ［解除］を押します。

ツールバーの各アイコンは○を押して選択します。

また、ツールバーについて以下の操作が可能です。

- ○を押すと、ツールバーの表示を切り替えることができます。
- ニューロポインターを使ってツールバーの各アイコンを選択することもできます。

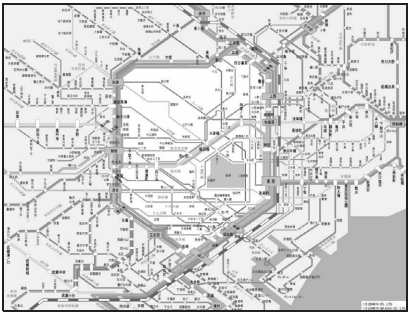
■ ツールバーについて

倍率	倍率が表示されます。倍率を指定すると、指定した倍率で表示します。 ▶●▶**4桁の数字を入力** たとえば倍率を70%に指定する場合は0070と入力します。
頁	表示中のページ番号が表示されます。表示するページ番号を指定すると、指定したページへ移動します。 ▶●▶**4桁の数字を入力** たとえば5ページに移動する場合は0005と入力します。
	縮小します。
	拡大します。
	ページ全体を表示します。
	倍率100%に表示します。
	ページの幅を画面に合わせて表示します。
	最初のページを表示します。
	前のページを表示します。
	次のページを表示します。
	最後のページを表示します。
	PDFデータの文字を検索します。
	ページを右に90度回転します。
	ページを左に90度回転します。
	文字列をコピーします。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.452 コピーした文字列はテキストメモなどに貼り付けることができます。
	PDFデータの一部を画像として切り出します。→P.388
	ボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。
	単一でページを表示します。
	連続でページを表示します。
	見開きでページを表示します。
	しおり一覧画面を表示します。

● お買い上げ時に登録されているPDFデータ

本FOMA端末には、「ゼンリン」の「鉄道路線図」のPDFデータがお買い上げ時に登録されています。

- マイドキュメントのINBOXフォルダには、札幌路線図、仙台路線図、東京都心路線図、中部路線図、関西路線図、博多路線図のPDFデータが登録されています。



東京都心路線図

おしらせ

◆「鉄道路線図」のPDFデータを削除した場合、元に戻したいときは「ケータイ電話メーカー」サイト内の「みんなNらんど」からダウンロードしてください。「みんなNらんど」への接続のしかた→P.213
ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用しているときは、FOMAカード動作制限機能がかかります。→P.39

PDFデータ画面で利用できる便利な機能について

PDFデータ画面では、拡大／縮小したり、回転したり、ページの表示のしかたを変更することができます。また、iモードしおりやマークを設定したり、ページを切り出して保存できます。

- PDFデータ画面の表示の変更は、ツールバーを利用して行うと便利です。
- ボタンを使ってページの表示のしかたを変更することもできます。→P.388

● あらかじめPDFデータに設定されているしおりのほかに、見たいページ・位置へすばやくジャンプできるように、付箋を貼る感覚で設定できる「ｉモードしおり」があります。

● スクロールする

■ ⊕でスクロールする

PDFデータ画面で⊕を押すとその方向にスクロールします。

■ ▲▼でスクロールする

PDFデータ画面で▲を押すと上にスクロールし、▼を押すと下にスクロールします。

■ ニューロポインターを使ってスクロールする

PDFデータ画面でスクロールしたい方向にニューロポインターを押してスクロールします。8方向にスクロールすることができます。カーソル表示は、PDFデータ中央に固定され、スクロール方向（8方向）が示されます。

おしらせ

◆ニューロポインターを使ってスクロールバーを操作することはできません。

● ツールバーとスクロールバーを表示／非表示にする場合

PDFデータ画面で8を押すとツールバーとスクロールバーの表示／非表示が切り替わります。

● 表示方法を変更する

ツールバーを利用して拡大／縮小するなど、ページの表示のしかたを変更できます。

1「PDFデータ画面」（P.385）▶ ✉［ツール］▶アイコンを選択

アイコンは⊕で選択します。

2 それぞれの操作を行う

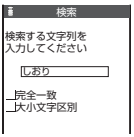
ツールバーの操作が終了したら✉［解除］を押します。
ツールバーについて→P.386
PDFデータ画面に戻ります。

● 文字列を検索する

1「PDFデータ画面」（P.385）▶ ✉［ツール］▶🔭▶●▶検索する文字列を入力

文字列は全角文字で8文字、半角文字で16文字まで入力できます。ただし、一部特殊文字など検索できない場合があります。

2 条件の□（チェックボックス）を選択▶✉［検索］



検索した文字列が見つかった場合、文字列を含むページが表示されます。
＊を押すとページの先頭に向かって同じ条件で検索できます。
＃を押すとページの後ろに向かって同じ条件で検索できます。

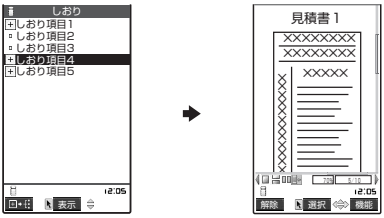
● しおりを使ってPDFデータを表示する

■ あらかじめPDFデータに設定されている「しおり」を使う場合

● PDFデータにあらかじめしおりが設定されている場合は、以下の操作で、しおりが設定されている箇所（ページ）に移動できます。

1「PDFデータ画面」（P.385）▶✉［ツール］▶📑▶表示したいしおりを選択

選択したしおりが設定されている箇所（ページ）が表示されます。
表示しているPDFデータにしおりが1つも設定されていない場合は、しおりがないことを通知するメッセージが表示されます。



⊞のある項目で✉［⊞⇢⁝］を押すと、その下のしおりが表示されます。

■「ｉモードしおり」を使う場合

● ｉモードしおりは、見たいページ・位置へすばやくジャンプできるように、お客様の好きな位置にしおりを設定する機能です（1つのPDFデータにつき最大10件まで設定できます）。
● ｉモードしおりを設定した箇所（ページ）に移動するには、以下の操作を行います。

1「PDFデータ画面」（P.385）▶●［機能］▶「ｉモードしおり」▶表示したいｉモードしおりを選択

選択したｉモードしおりを設定したときの表示状態（倍率など）で、その箇所（ページ）が表示されます。

■ ｉモードしおりを追加する場合

▶✉［追加］▶「YES」▶ｉモードしおりのタイトルを入力

現在の表示状態（表示しているページ、倍率など）がｉモードしおりとして登録されます。

■ ｉモードしおりのタイトルを変更する場合

▶●［機能］▶「タイトル編集」▶タイトルを入力

■ ｉモードしおりを削除する場合

▶●［機能］▶「削除」▶「YES」

次ページにつづく

■PDFデータに設定されている i モードしおりをすべて削除する場合
▶(i)［機能］▶「全削除」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

● ページを切り出す

画面の一部を切り出し、JPEG形式の画像として保存することができます。

1 切り出したいページを表示させる ▶ ✉［ツール］▶ ▶●▶「YES」▶ 保存するフォルダを選択

切り出したページが保存されます。

おしらせ

◆FOMA端末外への出力が禁止されているPDFデータから切り出した画像は、メール送信やmicroSDメモリーカードへのコピーなど、FOMA端末の外部に出力することはできません。
◆コピーが禁止されているPDFデータの場合は、画面の切り出しができない場合があります。

● ボタンを使って表示の変更をする

各ボタンに割り当てられた機能については次のとおりです。

ボタン	説明
1	縮小します。
2	ページ全体を表示します。
3	拡大します。
4	前のページを表示します。
5	−
6	次のページを表示します。
7	PDFデータの文字を検索します。
8	ツールバーとスクロールバーの表示／非表示を切り替えます。→P.387
9	−
0	ツールバーやボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。
#	次を検索します。→P.387
*	前を検索します。→P.387

PDFデータ一覧画面の機能メニュー

● 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

タイトル編集	PDFデータのタイトルを編集します。
ドキュメント表示	
・**前回の続きから**	前回表示したPDFデータのページから表示します。
・**初めから**	表示したいPDFデータの最初のページから表示します。
・**i モードしおりから**	選んだ i モードしおりの箇所のページを表示します。
ドキュメント情報	「ドキュメント情報について」→P.389
残り全てを取得	「部分的に取得したPDFデータを追加でダウンロードする」→P.224
デスクトップ貼付※1	「デスクトップアイコンを利用する」→P.149
i モードメール作成※2	PDFデータを添付した i モードメールを作成します。
i C送信※1	「データを1件ずつ転送する」→P.381
赤外線送信※1	
microSDへコピー※1	「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.376
フォルダ移動	「データをほかのフォルダに移動する」→P.376
保存容量確認	使用している容量と空きの容量を確認します。
ソート※1	指定した条件に従ってPDFデータを並び替えます。
削除	「データを削除する」→P.377
本体へコピー※3	「microSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピーする」→P.377
コピー※3	「microSDメモリーカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.377

※1：microSDメモリーカードのPDFデーター覧画面のときは表示されません。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※3：FOMA端末本体のPDFデーター覧画面のときは表示されません。

おしらせ

＜i モードメール作成＞
◆以下の場合は i モードメール作成できません。
- 保存メールが20件あるとき、または保存BOXに空き容量がないとき
- 一部のデータしか取得されていないPDFデータ
- 2Mバイトを超えるPDFデータ
- 「ファイル制限」が「あり」に設定されているPDFデータ

＜ソート＞
◆「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。
①サイトからダウンロードしたPDFデータ
②赤外線通信やmicroSDメモリーカードから取得したPDFデータ

PDFデータ画面の機能メニュー

ズームアウト	ページを縮小します。
ズームイン	ページを拡大します。
表示	
・**倍率指定**	ページの倍率を指定して表示します。
・**全体表示**	ページを全体が画面に収まる大きさで表示します。
・**実際の大きさ**	ページを100%（実際の大きさ）で表示します。
・**幅にあわせる**	ページを画面幅に合わせて表示します。

ページ移動	
・**最初のページ**	先頭のページを表示します。
・**前のページ**	1ページ前のページを表示します。
・**次のページ**	1ページ後のページを表示します。
・**最後のページ**	最後のページを表示します。
・**指定のページ**	▶**表示したいページを入力** 指定したページを表示します。
検索※1	
・**検索**	▶**文字列を入力**▶✉**[検索]** 「文字列を検索する」→P.387
・**前検索**	前を検索します。→P.387
・**次検索**	次を検索します。→P.387
ページレイアウト	
・**単一ページ**	単一でページを表示します。
・**連続ページ**	連続してページを表示します。
・**見開きページ**	見開きでページを表示します。
リンク表示※1	URL、電話番号、メールアドレスを選択するとリンク先にアクセスや電話発信およびiモードメール作成ができます。 PDFデータ内にあるリンクを表示させた場合は、画面のスクロールやツールバーの使用ができません。CLRを押すと、通常のPDFデータ画面に戻ります。
ツール／スクロールバー非表示※2	ツールバー、スクロールバーの表示／非表示を切り替えます。
表示を回転	
・**右90度**	ページを右に90度回転します。
・**左90度**	ページを左に90度回転します。
しおり	「しおりを使ってPDFデータを表示する」→P.387
コピー※1	文字列をコピーします。コピーした文字列はテキストメモなどに貼り付けることができます。
iモードしおり	「「iモードしおり」を使う場合」→P.387
マーク※1※3	好きな位置にマークを設定します（最大10件まで）。
・**追加**	マークを追加します。
・**修正**	マークを修正します。
・**削除**	マークを削除します。
・**全削除**	▶**端末暗証番号を入力**▶**「YES」** マークをすべて削除します。
画面切り出し※1	「ページを切り出す」→P.388
iモードメール作成※1※3※5※6	PDFデータを添付したiモードメールを作成します。
デスクトップ貼付※1※3※4※5	「デスクトップアイコンを利用する」→P.149
残り全てを取得※1※3※4	「部分的に取得したPDFデータを追加でダウンロードする」→P.224
保存※1	取得したPDFデータを保存します。
ヘルプ	ボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。
プロパティ※1	PDFデータのプロパティを表示します。
終了	PDFデータ画面を閉じます。
ドキュメント情報※1	「ドキュメント情報について」→P.389
1件削除※1※3※5	表示しているPDFデータを削除します。

※1：メール作成時に、添付したPDFデータを閲覧しているときは表示されません。
※2：ツールバー、スクロールバーが非表示に設定されているときは「ツール／スクロールバー表示」となります。
※3：送信／受信メールの添付PDFデータを閲覧しているときは表示されません。添付PDFデータを保存すると表示されます。
※4：microSDメモリーカード内のPDFデータのときは表示されません。
※5：サイトのPDFデータを閲覧しているときは表示されません。PDFデータを保存すると表示されます。
※6：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

◆FOMA端末で設定した「iモードしおり」や「マーク」をパソコンなどで利用することはできません。

● ドキュメント情報について

以下の情報が確認できます。

ファイル名	ファイル名を表示
ファイル種別	ファイル形式を表示
ファイル制限	ファイル制限の「あり／なし」を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示
取得元	ファイルの取得元を表示
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日 時：分）を表示
microSDへの移動※1	microSDメモリーカードへのコピーの「可／不可」を表示
本体への移動※2	FOMA端末本体へのコピーの「可／不可」を表示

※1：FOMA端末本体に保存されているPDFデータのときのみ表示されます。
※2：microSDメモリーカードに保存されているPDFデータのときのみ表示されます。

〈ドキュメントビューア〉

ドキュメントを表示する

メールに添付されていたり、microSDメモリーカードに保存されているドキュメントをドキュメントビューアで表示します。

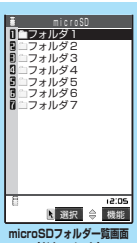
■ 表示できるドキュメントの種類

ドキュメントの種類	拡張子
Excel	xls
Word	doc
PowerPoint	ppt

次ページにつづく

1 (MENU)▶「DATA BOX」▶「ドキュメントビューア」

「microSDフォルダー覧画面」が表示されます。

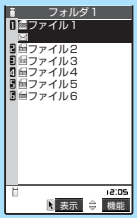


microSDフォルダー覧画面（ドキュメント）

機能メニュー ➡P.376

2 フォルダを選択

「ドキュメント一覧画面」が表示されます。



ドキュメント一覧画面

機能メニュー ➡P.391

3 ドキュメントを選択

「ドキュメント表示画面」が表示されます。



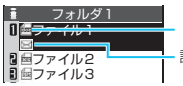
ドキュメント表示画面

機能メニュー ➡P.392

おしらせ

- ドキュメントによっては、表示に時間がかかることがあります。
- ドキュメントビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメントの場合、正しく表示されないことがあります。
- パソコンなどからmicroSDメモリーカードにドキュメントを保存する場合は、指定のフォルダ構成、フォルダ名、ファイル名で保存してください。➡P.367フォルダ構成やフォルダ名、ファイル名が異なると、FOMA端末で表示できません。
- microSDメモリーカード内のドキュメントを読み込み中は、「」が点滅します。

ドキュメント一覧の見かた



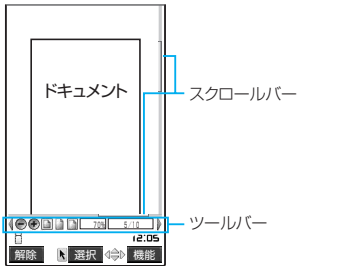
■ ドキュメント種別アイコン

doc / xls / ppt	表示可能なドキュメントの種類

■ 設定できる項目アイコン

	メール添付可能なドキュメント

ドキュメント表示画面の操作について



■ スクロールバー

画面にスクロールバーが表示されます。スクロールバーは表示されているページの位置を示します。

■ ツールバー

▶(メール)［ツール］

ツールバーに表示されるアイコンを操作します。画面の倍率を変えて表示したり、表示を回転させるなどの操作ができます。

ツールバーのアイコンの操作を解除するには(メール)［解除］を押します。

ツールバーの各アイコンは(ナビ)を押して選択します。

倍率	▶(●)▶4桁の数字を入力 倍率が表示されます。倍率を指定すると、指定した倍率で表示します。 たとえば倍率を70%に指定する場合は0070と入力します。
頁	▶(●)▶4桁の数字を入力 表示中のページ番号が表示されます。表示するページ番号を指定すると、指定したページへ移動します。 たとえば5ページに移動する場合は0005と入力します。
	縮小します。
	拡大します。
	ページ全体を表示します。
	倍率100%に表示します。
	ページの幅を画面に合わせて表示します。
	最初のページを表示します。
	前のページを表示します。
	次のページを表示します。
	最後のページを表示します。
	ドキュメントの文字を検索します。
	ページを右に90度回転します。
	ページを左に90度回転します。

?	ツールバーやボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。

おしらせ

◆(0)を押すと、ツールバーの表示を切り替えることができます。
◆ニューロポインターを使ってツールバーの各アイコンを選択することもできます。

ドキュメント表示画面で利用できる便利な機能について

ドキュメント表示画面では、拡大／縮小したり、回転したり、ページの表示のしかたを変更することができます。

- ドキュメント表示画面の表示の変更は、ツールバーを利用して行うと便利です。→P.390
- ボタンを使ってページの表示のしかたを変更することもできます。→P.391

● スクロールする

■ ⊕でスクロールする

ドキュメント表示画面で⊕を押すとその方向にスクロールします。

■ 2▲ 8▼でスクロールする

ドキュメント表示画面で2▲を押すと上にスクロールし、8▼を押すと下にスクロールします。

■ ニューロポインターを使ってスクロールする場合



ドキュメント表示画面でスクロールしたい方向にニューロポインターを押してスクロールします。8方向にスクロールすることができます。カーソル表示は、ドキュメント中央に固定され、スクロール方向（8方向）が示されます。

おしらせ

◆ニューロポインターを使ってスクロールバーを操作することはできません。

● ツールバーとスクロールバーを表示／非表示にする場合

ドキュメント表示画面で8を押すとツールバーとスクロールバーの表示／非表示が切り替わります。

● 表示方法を変更する

ツールバーを利用して拡大／縮小するなど、ページの表示のしかたを変更できます。

1「ドキュメント表示画面」（P.390）▶ ✉［ツール］▶アイコンを選択

アイコンは⊕で選択します。

2 それぞれの操作を行う

ツールバーの操作が終了したら✉［解除］を押します。
ツールバーについて→P.390
ドキュメント表示画面に戻ります。

● 文字列を検索する

1「ドキュメント表示画面」（P.390）▶ ✉［ツール］▶🔭▶●▶検索する文字列を入力

文字列は全角文字で8文字、半角文字で16文字まで入力できます。ただし、一部特殊文字など検索できない場合があります。

2 条件の□（チェックボックス）を選択▶✉［検索］

検索した文字列が見つかった場合、文字列を含むページが表示されます。
＊を押すとページの先頭に向かって同じ条件で検索できます。
＃を押すとページの後ろに向かって同じ条件で検索できます。

■ Excelを検索する場合

「ページ内検索」または「ファイル検索」を選択します。「ページ内検索」は現在表示しているシート内を検索します。「ファイル検索」は表示しているドキュメント(Excel)全体を検索します。

● ボタンを使って表示の変更をする

各ボタンに割り当てられた機能については次のとおりです。

ボタン	説明
1	縮小します。
2	ページ全体を表示します。
3	拡大します。
4	前のページを表示します。
5	−
6	次のページを表示します。
7	ドキュメントの文字を検索します。
8	ツールバーとスクロールバーの表示／非表示を切り替えます。→P.391
9	−
0	ツールバーやボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。
＃	次を検索します。→P.391
＊	前を検索します。→P.391

ドキュメント一覧画面の機能メニュー

タイトル編集	ドキュメントのタイトルを編集します。
ドキュメント表示	ドキュメントの1ページ目から表示します。
ドキュメント情報	「ドキュメント情報について」→P.392
iモードメール作成※	ドキュメントを添付したiモードメールを作成します。
フォルダ移動	「データをほかのフォルダに移動する」→P.376

次ページにつづく

コピー	「microSDメモリーカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.377
保存容量確認	使用している容量と空きの容量を確認します。
削除	「データを削除する」→P.377

※： 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

ドキュメント表示画面の機能メニュー

ズームアウト	ページを縮小します。
ズームイン	ページを拡大します。
表示	
・**倍率指定**	ページの倍率を指定して表示します。
・**全体表示**	ページを全体が画面に収まる大きさで表示します。
・**実際の大きさ**	ページを100%（実際の大きさ）で表示します。
・**幅にあわせる**	ページを画面幅に合わせて表示します。
ページ移動	
・**最初のページ**	先頭のページを表示します。
・**前のページ**	1ページ前のページを表示します。
・**次のページ**	1ページ後のページを表示します。
・**最後のページ**	最後のページを表示します。
・**指定のページ**	▶**表示したいページを入力** 指定したページを表示します。
検索	
・**検索**	▶**文字列を入力**▶✉**［検索］** 「文字列を検索する」→P.391
・**前検索**	前を検索します。→P.391
・**次検索**	次を検索します。→P.391
ツール／スクロールバー非表示※1	ツールバー、スクロールバーの表示／非表示を切り替えます。→P.391
表示を回転	
・**右90度**	ページを右に90度回転します。
・**左90度**	ページを左に90度回転します。
iモードメール作成※2※4※5	ドキュメントを添付したiモードメールを作成します。
保存※3※4	表示しているドキュメントを保存します。
ヘルプ	ツールバーやボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。
終了	ドキュメント表示画面を閉じます。
ドキュメント情報	「ドキュメント情報について」→P.392
1件削除※2※4	表示しているドキュメントを削除します。

※1：ツールバー、スクロールバーが非表示に設定されているときは「ツール／スクロールバー表示」となります。
※2：microSDメモリーカードからドキュメントを表示したときに表示されます。また、送信／受信メールからドキュメントを表示したときは、ドキュメントを保存後に表示されます。
※3：送信／受信メールからドキュメントを表示したときのみ表示されます。
※4：メール作成時に、添付したドキュメントを閲覧しているときは表示されません。
※5：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

◆ドキュメントの読み込み中は、ページ移動や検索はできません。

● ドキュメント情報について

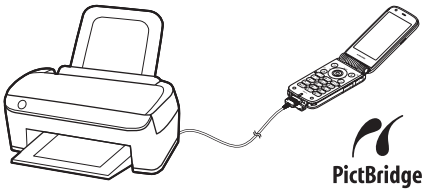
以下の情報が確認できます。

ファイル名	ファイル名を表示します。
ファイル種別	ファイル形式を表示します。
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示します。
取得元	ファイルの取得元を表示します。
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日 時：分）を表示します。

〈PictBridge印刷〉

保存した画像を印刷する

FOMA USB接続ケーブル（別売）を使って、FOMA端末とPictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンタを接続することで、JPEG形式の画像をパソコンなどを使わずにダイレクトプリントすることができます。



"Mobile Printing Ready" (PictBridge、microSD) に対応

※この "Mobile Printing Ready" 対応製品は、携帯電話からプリンタへの印刷をより簡単にすることを目的に、世界の主要な携帯電話メーカおよびプリンタメーカにて結成された Mobile Imaging and Printing Consortium(MIPC) バージョン 1.0 版の設計ガイドラインに沿った製品です。

- JPEG形式の画像のみ印刷できます（内蔵カメラで撮影した画像はJPEG形式です）。
- 内蔵カメラで撮影した静止画以外の画像を印刷した場合、プリンタによっては正しく印刷されない場合があります。
- 接続する前に、プリンタがPictBridge印刷に対応していることを確認してください。
- microSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法をあらかじめ設定しておくこともできます。→P.394
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像は印刷できません。
- PictBridge印刷を行うときは、電池を十分充電しておいてください。電池残量が不十分な場合は、印刷できない場合があります。
- プリンタとの通信中にFOMA USB接続ケーブルを抜かないでください。通信中は「🖨」が表示されます。
- プリンタによっては、FOMA端末で設定した印刷方法（レイアウト、枚数など）どおりに印刷されないことがあります。

1「USBモード設定画面」(P.375)▶「プリントモード」

「プリントモード」に設定すると、「」が表示されます。
FOMA USB接続ケーブルを接続する前に「プリントモード」に設定しておかないと印刷できない場合があります。

2 FOMA端末とプリンタを、FOMA USB接続ケーブルで接続する

接続する前に、プリンタの電源を入れておいてください。

3「画像一覧画面」(P.342)または「タイトル名一覧画面」(P.343)▶印刷したい画像を選んで(i)［機能］▶「PictBridge印刷」

DPOF印刷をする場合は、microSDメモリーカード内の「画像一覧画面」または「タイトル名一覧画面」から行ってください。
複数の画像を印刷する場合や、DPOF印刷をする場合は印刷したい画像を反転表示させる必要はありません。

■「マイピクチャ画面」から印刷する場合

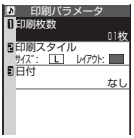
「マイピクチャ画面」(P.342)の機能メニューから印刷する場合は1件印刷となります。操作5に進みます。
▶(i)［機能］▶「PictBridge印刷」

4 印刷の種類を選択

「DPOF印刷」を選択した場合は、あらかじめ「DPOF設定」で設定しておいたプリント指定と、プリンタ側で設定している用紙サイズ、レイアウトに従って印刷されます(操作5以降は不要です)。

1件印刷	選んでいる画像を印刷します。
選択印刷	▶で画像を選択▶(✉)［完了］ タイトル名一覧のときは、で□(チェックボックス)を選択し、(✉)［完了］を押します。 複数の画像を選択して印刷します。
DPOF印刷	microSDメモリーカードに保存されている画像を、あらかじめ「DPOF設定」で設定しておいたプリント指定に従って印刷します。

5 印刷方法を設定



■ 印刷方法

印刷方法を以下の項目から選択

印刷枚数※	▶印刷枚数(01～99)を入力
印刷スタイル	・用紙サイズ 印刷する用紙のサイズを設定します。 ・L判 ・A4 ・2L判 ・カード ・六切 ・プリンタ標準 ・ハガキ
	・レイアウト
	・全面(フチなし)：1個の画像を、1枚の用紙全面にフチを付けずに印刷します。
	・全面：1個の画像を、1枚の用紙全面にフチを付けて印刷します。
	・2面：2個の画像を、1枚の用紙に分割して印刷します。印刷する画像が1つだけの場合は、その画像を1枚の用紙に2個印刷します。
	・4面：4個の画像を、1枚の用紙に分割して印刷します。印刷する画像が1つだけの場合は、その画像を1枚の用紙に4個印刷します。
	・8面：8個の画像を、1枚の用紙に分割して印刷します。印刷する画像が1つだけの場合は、その画像を1枚の用紙に8個印刷します。
	・16面：16個の画像を、1枚の用紙に分割して印刷します。印刷する画像が1つだけの場合は、その画像を1枚の用紙に16個印刷します。
	・プリンタ標準：プリンタに設定されているレイアウトで印刷します。
日付	日付を付加するかどうかを設定します。

※：「印刷枚数」は操作4で「1件印刷」を選択したときのみ設定できます。

6(✉)［完了］

画像が印刷されます。

● プリンタがエラーになったときは

- 「エラーが発生しました」というメッセージが表示されたときはプリンタ側でエラーが発生している可能性があります。
- プリンタからFOMA USB接続ケーブルを取り外してから、プリンタのエラー復帰操作を行ってください。
- エラー復帰後は、FOMA端末の画面上部に「」が表示されていることを確認してから、FOMA USB接続ケーブルをプリンタに接続し直してください。

おしらせ

◆プリンタのエラー復帰方法についてはプリンタの取扱説明書をご覧ください。
◆選択印刷で一度に選択できる画像は100枚までです。

次ページにつづく

◆1件印刷および選択印刷の場合、選択できる用紙サイズ、レイアウトは接続するプリンタによって異なります。DPOF印刷の場合は、プリンタ側で設定している用紙サイズ、レイアウトに従って印刷します。
◆日付を付加する設定にすると、撮影日時の情報がある画像は撮影日時が付加されます。撮影日時のない画像の場合は、イメージ情報で表示される「保存日時」が付加されます。ただし、日付を付加する設定にしていても、レイアウトの指定などによっては印字されないことがあります。
◆以下の画像は印刷できません。
・横または縦の最大が2,304ドットを超える画像
・総ドット数が2,304×1,728ドットを超える画像
・ファイルサイズが2Mバイトを超える画像
・横または縦の最大が854ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像
・総ドット数が854×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像
プログレッシブJPEG形式の画像→P.223
◆PictBridge印刷でマルチタスク機能は利用できません。
◆印刷中は圏外と同じ状態になるため、通話、iモードなどはできません。

microSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する〈DPOF設定〉

microSDメモリーカードに保存されている画像をDPOF（Digital Print Order Format）設定します。

- DPOF（ディーポフ）とは、デジタルカメラで撮影した静止画を印刷するときの指定方式です。
- FOMA端末で撮影した静止画をmicroSDメモリーカードに保存し、印刷したい静止画とその枚数などを指定しておくと、DPOFに対応したプリンタやプリントサービスのお店で、指定した情報にそって印刷できます。
- DPOF設定した静止画をPictBridge対応のプリンタで印刷する→P.392

1「フォルダ一覧画面」(P.342)▶「microSD」▶「ピクチャ」▶フォルダを選択▶画像を選ぶ▶(i)［機能］▶「DPOF設定」▶以下の項目から選択

1件DPOF設定	選んだ画像の印刷方法を設定します。
選択DPOF設定	▶画像を選択▶✉［完了］ 複数の画像を選択して印刷方法を設定します。

2「プリント指定」▶「プリント枚数」(01～99の2桁の数字)、「日付」(日付印刷のあり／なし)を選択▶✉［完了］

■表示している画像に設定されているプリント指定を解除する場合
▶「プリント指定解除」

■保存されている画像すべてのプリント指定を解除する場合
▶「プリント指定全解除」

おしらせ

◆DPOF設定できる画像は999件までです。ただし、プリンタによっては設定した件数まで印刷できないことがあります。
◆以下の画像にはDPOF設定はできません。
・横または縦の最大が2,304ドットを超える画像
・総ドット数が2,304×1,728ドットを超える画像
・ファイルサイズが2Mバイトを超える画像
◆microSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないときは、DPOF設定できない場合があります。
◆FOMA端末本体に保存されている画像にDPOF設定をすることはできません。
◆設定されている印刷枚数は「イメージ情報」で確認できます。